

2022年3月新聞書評に掲載された本



Two - Sideways〜二刀流〜

平野 歩夢 著

KADOKAWA

世界との壁、コロナ禍での葛藤、東京オリンピックの延期、そして次に控える北京オリンピックへの思い…。スノーボードとスケートボードの“二刀流”で世界を狙う平野歩夢の約3年間の歩みを、未公開写真の数々と共に振り返る。

産経新聞 2022/03/05

2021:9/ 143p

978-4-04-897109-6

¥2,200〔税込〕



怪異猟奇ミステリー全史(新潮選書)

風間 賢二 著

新潮社

心霊主義、疑似科学、進化論・退化論、エログロ・変態性欲など、西洋のあらゆる奇想から生まれた日本のミステリー。ポーからドイル、乱歩、京極夏彦へ、連綿と受け継がれるその流れを、あらゆる学問・思想をスパイスに語る。

産経新聞 2022/03/05、毎日新聞 2022/03/26

2022:1/ 271p

978-4-10-603875-4

¥1,650〔税込〕



ばらまき〜河井夫妻大規模買収事件全記録〜

中国新聞「決別金権政治」取材班 著

集英社

100人に2871万円。政治家夫婦が自ら現金を配って回った前代未聞の大規模買収事件。誰が主導したのか。事件は政界に何を残したのか。地元紙・中国新聞が、総力を挙げて取材した執念のノンフィクション。

産経新聞 2022/03/06

2021:12/ 309p

978-4-08-781713-3

¥1,760〔税込〕



津田梅子〜明治の高学歴女子の生き方〜(平凡社新書 995)

橋木 俊詔 著

平凡社

7歳で日本初の女子留学生として渡米し、生涯、女子高等教育の発展に尽力した津田梅子。良妻賢母が当たり前だった時代に、高学歴女子はどのような人生の選択を迫られたのか。現代女性の生き方と照らし合わせながら論じる。

産経新聞 2022/03/06

2022:1/ 237p

978-4-582-85995-9

¥968〔税込〕



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2022年4月時点での税込み価格です。



Serendipity 点をつなぐ力

クリスチャン・ブッシュ 著
東洋経済新報社

一流の人には、「運」を結果につなげる方法が見えている。人生とビジネスに圧倒的な違いをもたらす究極の思考法「セレンディピティ・マインドセット」の身につけ方を紹介する。

産経新聞 2022/03/06

2022:2./
25p,394p,49p
978-4-492-04703-3

¥2,200〔税込〕



慰安婦運動、聖域から広場へ～韓国最大の支援団体の実像に迫る～

沈揆先 著
朝日新聞出版

韓国最大の元慰安婦支援団体「正義記憶連帯」の前理事長・尹美香が、詐欺、業務上横領などの罪で在宅起訴された寄付金流用事件を中心に検証。「聖域」とされてきた支援団体の「実像」に切り込むノンフィクション。

産経新聞 2022/03/06

2022:1./ 415p
978-4-02-251805-7

¥2,530〔税込〕



寄生生物の果てしなき進化

トゥオマス・アイヴェロ 著
草思社

寄生生物たちは、どう誕生し、どのように進化し、今日まで生きながらえてきたのか。また人類はどこで彼らに出会い、その拡大に影響を与えてきたのか。寄生生物たちの進化の道程を、人類との歴史的な共生とともに描き出す。

産経新聞 2022/03/06

2021:12./ 374p,27p
978-4-7942-2547-4

¥2,420〔税込〕



あなたが生まれたとき

くさか みなこ / くさか みなこ 著
小学館

子どもが生まれたとき、初めて笑ったとき、初めて歩いたとき、ころんだとき、「おかあさん」と呼んだとき…。子どもの成長過程で感じる母親のとまどいや愛情を素直に表現した絵本。

産経新聞 2022/03/06

2022:3./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-09-725142-2

¥1,320〔税込〕



きれいになりたい気がしてきた

ジェーン・スー 著
光文社

誰に遠慮する人生じゃなし、自分のための美ですもの。人生の舵を自分の手から離さないために、美は必須なのだ。中年女性のセカンドシーズンが楽しくなるエッセイ。『美ST』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2022/03/06

2022:2./ 239p
978-4-334-95292-1

¥1,540〔税込〕





**病災害の中のしあわせ～自然災害とコロナ問題を踏み分けて～(武蔵野大学
しあわせ研究所叢書 1)**

西本 照真・一ノ瀬 正樹 著
武蔵野大学出版会

病災害の中においても、私たちは「しあわせ」を得ることができるのではないか。
令和3年1月開催のシンポジウムをもとに、「不可避な事態と幸福学」「病気と向き
合う仏教」などの論考とパネルディスカッションを収録する。

産経新聞 2022/03/06

2021:12./ 270p
978-4-903281-53-7

¥1,980〔税込〕



おんなの女房

蝉谷 めぐ実 著
KADOKAWA

歌舞伎を知らないままに、喜多村燕弥のもとへ嫁いだ武家の娘・志乃。夫となった燕
弥は評判の女形。家でも女としてふるまう夫を前に落ち着ける場所がわからない志乃
は…。やがて惹かれあう夫婦を描くエモーショナルな時代小説。

産経新聞 2022/03/06、朝日新聞 2022/03/26

2022:1./ 269p
978-4-04-111442-1

¥1,815〔税込〕



孫社長にたたきこまれた「数値化」仕事術 新書版(PHP ビジネス新書 435)

三木 雄信 著
P H P 研究所

ソフトバンク元社長室長の著者が孫正義社長のもとで身につけたのは「問題を数値化
して高速で解決する技術」。誰もがすぐ実践できて、生産性が劇的にアップする仕事
術を紹介する。ツールを一新し、新書版特別章を追加。

産経新聞 2022/03/12

2022:1./ 366p
978-4-569-85141-9

¥1,089〔税込〕



おばあちゃんと福ちゃん

YASUTO 著
宝島社

満開の桜の下、紫陽花の小道、眩い向日葵畑、紅葉の絨毯…。めぐる季節に寄り添う
おばあちゃんと柴犬・福ちゃん。SNS 等で見ると感動に包んできた写真の中から
選りすぐりの作品を収録する。

産経新聞 2022/03/12

2022:1./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-299-02366-7

¥1,430〔税込〕



マイ・ファースト・リチ～上野リチのデザイン～

青幻舎編集部 編
青幻舎

19世紀末に文化芸術の都市・ウィーンから京都へやってきたデザイナー、上野リ
チ。壁紙、壁面装飾、テキスタイル、七宝、アクセサリーなど、リチが手がけたファ
ンタジックなデザインの仕事を紹介する。

産経新聞 2022/03/13

2021:12./ 185p
978-4-86152-873-6

¥2,420〔税込〕





防災アプリ特務機関 NERV～最強の災害情報インフラをつくったホワイトハッカーの10年～

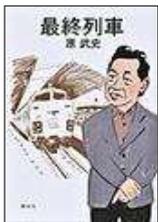
川口 穰 著
平凡社

3.11 への思いを礎に進化し、今や社会インフラとなった最強の防災アプリ「特務機関 NERV」。創設者・石森大貴の技術力と経験に裏打ちされた信念が結実するまでの、情報と防災にかけた10年を追った。

産経新聞 2022/03/13

2022:2./ 287p
978-4-582-82493-3

¥1,760〔税込〕



最終列車

原 武史 著
講談社

マスクをし、スマホを握りしめる乗客とともに傷みきった社会で公共性が再建できるのか。四季の車窓から日本近代150年の歴史と先人に思いを馳せる「鉄学者」が思いを綴る。『本』『群像』掲載を加筆し単行本化。

産経新聞 2022/03/13

2021:12./ 328p
978-4-06-526352-5

¥1,980〔税込〕



青い雪

麻加朋 著
光文社

夏の数日とともに過ごす3組の家族。最年少の5歳の少女が失踪し、穏やかな避暑地での日々は永遠に失われた。3組がそれぞれに秘めた複雑な家庭の事情と、長い時を経て発見された一通の告発状。絡み合った謎が氷解したとき...

産経新聞 2022/03/13

2022:2./ 363p
978-4-334-91448-6

¥1,870〔税込〕



至誠の日本インテリジェンス～世界が称賛した帝国陸軍の奇跡～

岡部 伸 著
ワニブックス

軍備と情報は安全保障の両論。日本の急務はインテリジェンスの強化しかない！ヤルタ密約をキャッチした小野寺信、2万人のユダヤ人を救い北海道を守った樋口季一郎など、戦前の知られざるインテリジェンスヒストリーに学ぶ。

産経新聞 2022/03/13

2022:3./ 319p
978-4-8470-7152-2

¥1,650〔税込〕



オオルリ流星群

伊与原 新 著
KADOKAWA

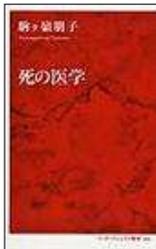
山際慧子が故郷に帰ってきた。太陽系の果ての星を探すため手作り天文台を建てるというのだ。慧子に協力することとなった種村久志ら旧友たちは、28年前の青春の日々に思いを馳せるが、高校最後の夏の真実が明らかになり...

産経新聞 2022/03/13

2022:2./ 291p
978-4-04-108566-0

¥1,760〔税込〕





死の医学(インターナショナル新書 092)

駒ヶ嶺 朋子 著

集英社インターナショナル

従来は「オカルト現象」などとして扱われてきた幽体離脱や金縛り、憑依の仕組みを最新の脳科学は着々と解き明かしている。詩人にして脳神経内科医の著者が、「心と魂」の秘密を語る。

産経新聞 2022/03/13

2022:2./ 246p,8p
978-4-7976-8092-8

¥968 [税込]



あなたの心に青空を

瀬戸内寂聴 著

光文社

雨降らば降れ、風吹かば吹け、そう口ずさむと不思議に気持ちが落ち着くのです。多くの名言を残した瀬戸内寂聴が、人生の指針としていた名僧や偉人たちの言葉について語り尽くす。『女性自身』掲載等を再編集。

産経新聞 2022/03/19

2022:2./ 253p
978-4-334-95294-5

¥1,430 [税込]



数値化の鬼～「仕事ができる人」に共通する、たった1つの思考法～

安藤広大 著

ダイヤモンド社

仕事ができる人は、数字の大切さを知っている。「結果を出したいプレイヤー」に向けて、仕事の型になる「数値化」のノウハウを解説。知的で冷静に考えるための方法を体系化する。

産経新聞 2022/03/19

2022:3./ 287p
978-4-478-11437-7

¥1,650 [税込]



物流の世界史～グローバル化の主役は、どのように「モノ」から「情報」になったのか?～

マルク・レヴィンソン 著

ダイヤモンド社

モノの時代から、アイデアやサービスの時代へ。人々の生活や働き方、企業の投資や生産体制はどう変わったか? 経済学者であり、ジャーナリスト、歴史家である著者がひもとく世界経済 200 年史。

産経新聞 2022/03/20

2022:2./ 17p,320p
978-4-478-10708-9

¥2,640 [税込]



大人の雑学西洋画家事典～人柄がわかるエピソードで楽しく読める!～

らち まゆみ 著

ワニブックス

ルネサンスから 20 世紀現代アートまで。西洋画家たちの素顔を代表作とともに徹底解剖。学校では教えてくれないエピソードを、彼らが活躍した時代背景とともに詳しく紹介。web ラジオ『そんない美術の時間』を書籍化。

産経新聞 2022/03/20

2022:1./ 223p
978-4-8470-7146-1

¥1,485 [税込]





偏愛的ポピュラー音楽の知識社会学～楽しい音楽の語り方～(叢書パルマコン・ミクロス 01)

長崎 励朗 著
創元社

ロックは社会変革に結びつく？ 電子音楽は「非人間的」？ ポピュラー音楽につきまとうさまざまな思い込みの起源やメカニズムを明らかにしながら、現代社会の特質を読み解く。各章末にディスクガイド付き。

産経新聞 2022/03/20

2021:12./ 213p
978-4-422-70125-7

¥1,870〔税込〕



オン・ザ・プラネット

島口 大樹 著
講談社

同じ車に乗り込んだばかり4人は、映画を撮るために鳥取砂丘を目指す。記憶すること、思い出すこと、未来に向かって過去をみつけ直すこと。現実と虚構の別を越えて、新しい世界と出会う旅。『群像』掲載を単行本化。

産経新聞 2022/03/20

2022:1./ 174p
978-4-06-526945-9

¥1,650〔税込〕



高望の大刀

夜弦 雅也 著
日本経済新聞出版社

平安前期。事故で今上帝を傷つけてしまった高望は、謀反の罪に問われ、上総国に流される。長い労役のあと、朝廷の奸計を知った高望は…。武士の力が忍び寄る、平安の裏面史を大胆に創作した歴史活劇。

産経新聞 2022/03/20

2022:2./ 296p
978-4-532-17164-3

¥1,760〔税込〕



「それから」の大阪(集英社新書 1103)

スズキナオ 著
集英社

「密」だからこそ魅力的だった大阪の街は変わってしまうのか。万博開催予定地、閑散とした道頓堀界隈、ちんどん行列、新世代の大衆酒場など、コロナ後の大阪を歩き、非常時を遅しく、しなやかに生きる町と人の姿を追う。

産経新聞 2022/03/20、日本経済新聞 2022/03/26、読売新聞 2022/03/20

2022:2./ 237p
978-4-08-721203-7

¥924〔税込〕



あのこは美人

フランシス・チャ 著
早川書房

整形中毒のルームサロン嬢、アイドル好きの美容師、赤ちゃんが欲しい会社員…。容姿や家柄、学歴、結婚など、韓国女性を取り巻く呪縛を乗り越えて、彼女たちは強く生きていく。ソウルの一角に暮らす女性たちのオムニバス。

産経新聞 2022/03/26

2022:2./ 366p
978-4-15-210084-9

¥2,970〔税込〕





少女を埋める

桜庭 一樹 著
文藝春秋

因習的な故郷に、男性社会からのいわれなき侮蔑に、「わたし」はいつも正論を命綱に生き延びてきた。理不尽で旧弊的な価値観に抗って生きる者に寄り添う、自伝的小説集。『文学界』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

産経新聞 2022/03/26、日本経済新聞 2022/03/26

2022:1/ 269p
978-4-16-391490-9

¥1,650〔税込〕



名著の話～僕とカフカのひきこもり～

伊集院 光 著
KADOKAWA

NHK E テレ「100分 de 名著」で出会った約 100 冊から、伊集院光が熟読して心に刺さった 3 冊を厳選。名著をよく知る 3 人と再会し、時間無制限で新たに徹底トークを繰り広げる。

産経新聞 2022/03/27

2022:2/ 190p
978-4-04-400559-7

¥1,650〔税込〕



世界の美しい灯台(フォトミュージアム)

デイヴィッド・ロス 著
原書房

海の旅の安全を守るため、世界各地の海岸に古代から存在する灯台。強風や荒波に耐え、光を投げかけ続ける世界の灯台 200 基以上を美しい大判写真と簡潔な解説で紹介する。

産経新聞 2022/03/27

2022:3/ 222p
978-4-562-07147-0

¥4,180〔税込〕



砂嵐に星屑

一穂 ミチ 著
幻冬舎

旬も過ぎ、社内不倫の“前科”で腫れ物扱いの 40 代独身女性アナウンサー。娘とは冷戦状態、同期の早期退職に悩む 50 代の報道デスク…。一見華やかなテレビ局。そこで働く、真面目で不器用な人たちの物語。

産経新聞 2022/03/27

2022:2/ 282p
978-4-344-03902-5

¥1,650〔税込〕



ねころんで読めるウィズコロナ時代の感染対策～専門医が教える正しく怖がるための入門書～

矢野 邦夫 著
メディカ出版

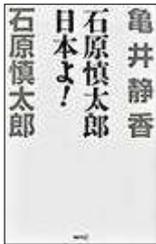
新型コロナウイルスと共存する、ウィズコロナ時代がやってくる。適切な感染対策、感染対策の「落とし穴」、新しい知見、今後の展望について、専門医がわかりやすく解説する入門書。

産経新聞 2022/03/27

2022:2/ 133p
978-4-8404-7847-2

¥2,200〔税込〕





石原慎太郎 日本よ!(WAC BUNKO B-364)

石原 慎太郎／亀井 静香 著
ワック

生まれも育ちも、政治スタンスも異なるが、「美しい日本の景色を後世に残す」という使命感で一致していた亀井静香と石原慎太郎。ふたりの中国、尖閣、大東亜戦争などをめぐる最後の“闘論”。『WILL』連載を単行本化。

産経新聞 2022/03/27

2022:3./ 255p
978-4-89831-864-5
¥990〔税込〕



悪い言語哲学入門(ちくま新書 1634)

和泉 悠 著
筑摩書房

「あんたバカあ?」「だって女/男の子だもん」...。何気なく使う言葉にも、悪い言葉がたくさん潜んでいる。その言葉はどこが悪いのか? 言葉の善悪の問題を哲学、言語学の観点から解き明かす。『フィルカル』連載を加筆修正。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 247p
978-4-480-07455-3
¥924〔税込〕



TBSラジオ公式読本〜開局70周年記念〜

武田 砂鉄 著
リトル・モア

「ファスト」全盛時代という逆境の中で、TBSラジオはなぜ元気なのか? ライター・武田砂鉄による人気パーソナリティへのインタビュー、寄稿、現場レポート、対談などで、多角的に「TBSラジオ」を物語る。

朝日新聞 2022/03/05

2021:12./ 360p
978-4-89815-551-6
¥1,760〔税込〕



ミシンと金魚

永井 みみ 著
集英社

「みっちゃん」たちから介護を受けて暮らす認知症を患うカケイ。今までの人生しあわせだったかと、みっちゃんの一人から尋ねられ...。暴力と愛情、諦念と悔悟。絡まりあう記憶の中から語られる、凄絶な「女の一生」。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 138p
978-4-08-771786-0
¥1,540〔税込〕



絶滅危惧種はそこにいる〜身近な生物保全の最前線〜(角川新書 K-386)

久保田 潤一 著
KADOKAWA

アマガエル、ゲンゴロウ、メダカ...。絶滅の危機に瀕している身近な生き物たちを守るため、池の水を抜き、草地を増やし、侵略的外来種を駆除し、密放流者と暗闘し...。環境保全の専門家が、保護活動の最前線をレポートする。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 283p
978-4-04-082274-7
¥1,034〔税込〕





「やりがい搾取」の農業論(新潮新書 935)

野口 憲一 著
新潮社

いまや食余りの時代。農家が単なる「食糧生産係」から脱し、農業の主導権を取り戻すためには何をすればいいのか。民俗学者兼農家の論客が、日本の農業の成長戦略を考える。

朝日新聞 2022/03/05

2022:1./ 183p
978-4-10-610935-5

¥836〔税込〕



コンビニ断ち脱スマホ〜便利さはほどほどで〜

黒沢 大陸 著
コモンズ

コンビニを利用せず、スマホも仕事以外は使わない。便利すぎる生活の「すぎる」の部分少し削ぐだけで、多くのことが発見できる。朝日新聞記者が、「便利すぎる生活」からの脱却体験を綴る。

朝日新聞 2022/03/05

2020:4./ 191p
978-4-86187-165-8

¥1,650〔税込〕



ゴイング・ダーク〜12の過激主義組織潜入ルポ〜

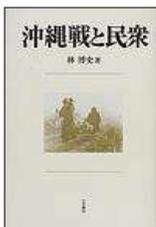
ユリア・エブナー、西川 美樹 著
左右社

ネオナチ、Qアノンから、ISIS主催のハッキング講座や白人至上主義者の出会い系サイトまで。5人の違う人間になりすまし、12の過激主義組織に潜入した女性研究者が、過激主義組織の隠れた実態を掘り起こし明るみに出す。

朝日新聞 2022/03/05

2021:12./ 411p,38p
978-4-86528-054-8

¥2,530〔税込〕



沖縄戦と民衆

林 博史 著
大月書店

ひめゆり学徒、皇民化教育、集団自決…。激しい地上戦の中で沖縄の老若男女が選んだ道をこうしたイメージだけで描きつくせるのか。膨大な事実の蓄積をふまえて、沖縄戦の民衆像をリアルに、全面的に捉えた調査研究の集大成。

朝日新聞 2022/03/05

2001:12./ 375p,30p
978-4-272-52067-1

¥6,160〔税込〕



科学の社会史〜ルネサンスから20世紀まで〜(ちくま学芸文庫 フ 40-1)

古川 安 著
筑摩書房

もともと「知ること」を意味する科学は、ルネサンスの訪れを機にその姿を変化させながら「制度化」の道を進んできた。複雑に絡み合う様々な社会的要素を解きほぐし、約400年にわたる西洋科学の変遷を明快にまとめた入門書。

朝日新聞 2022/03/05

2018:10./ 317p,66p
978-4-480-09883-2

¥1,430〔税込〕





不思議可愛いダンゴウオと仲間たち 増補新装版

佐藤 長明 著
河出書房新社

丸くて赤くて小さくて“カワイイ”の3拍子揃った北の海のアイドル、ダンゴウオ。南三陸町志津川湾に生息するダンゴウオとその仲間の魅力と生態を、オールカラーの写真で紹介しします。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 87p
978-4-309-29184-0

¥1,892〔税込〕



化学者たちの京都学派～喜多源逸と日本の化学～

古川 安 著
京都大学学術出版会

喜多源逸と京都学派の形成とその展開の様相を、おおよそ1910年代から1960年代までたどり、京都大学工学部を舞台に織りなされた化学者たちの群像を描く。科学史の興味深いサブテーマも満載。

朝日新聞 2022/03/05

2017:12./ 3p,334p
978-4-8140-0122-4

¥3,960〔税込〕



密室黄金時代の殺人～雪の館と六つのトリック～(宝島社文庫 このミス大賞 Cか-21-1)

鴨崎 暖炉 著
宝島社

現場が密室である限りは無罪であることが担保された日本。密室殺人事件が激増するなか、著名なミステリー作家が遺したホテル「雪白館」で密室殺人が起きた。現場はいずれも密室、死体の傍らには奇妙なトランプが...

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 411p
978-4-299-02646-0

¥880〔税込〕



異常

エルヴェ・ル・テリエ 著
早川書房

殺し屋、弁護士、売れない作家、歌手、がんを告知された男...。なんのつながりもない人びとが、ある飛行機に同乗したことで、運命を共にする。飛行機は未曾有の巨大乱気流に遭遇し、乗客は奇跡的に生還したかに見えたが...

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 417p
978-4-15-210079-5

¥2,970〔税込〕



日本列島の「でこぼこ」風景を読む

鈴木 毅彦 著
ベレ出版

山や谷のつくるでこぼこ、国土の輪郭を描く海岸線のでこぼこ...。さまざまな地形が複雑に入り組み、縦にも横にもさまざまな表情を見せてくれる日本の景色の面白さを解き明かす。楽しみながら地形や地学の知識が身につく。

朝日新聞 2022/03/05

2021:4./ 302p
978-4-86064-653-0

¥1,870〔税込〕





読書とは何か～知を捕らえる 15 の技術～(河出新書 046)

三中 信宏 著
河出書房新社

自分で読んだ本をあなたは本当に「読んだ」といえるだろうか。その本のいったい“何”を読んだのか。本から得た知識をどう解体しみずからの血肉にとりこんでゆくのか、読書経験を通しものごとを考えぬく方法について解説する。

朝日新聞 2022/03/05

2022:1./ 292p
978-4-309-63147-9

¥979〔税込〕



図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか?～生きものの“同定”でつまづく理由を考えてみる～

須黒 達巳 著
ベレ出版

自分の目の前にある自然物の身元を調べて名前を確定させる作業「同定」。なぜうまく同定できないのか? どういうプロセスで同定ができるようになるのか? 図鑑と同定についてとことん掘り下げる。

朝日新聞 2022/03/05

2021:12./ 183p
978-4-86064-676-9

¥2,200〔税込〕



悲の器(河出文庫 た 13-16)

高橋 和巳 著
河出書房新社

神経を病んだ妻がいる法学部教授・正木は、家政婦と関係を持つ。妻の死後、知人の令嬢と婚約した彼は、家政婦から婚約不履行で告訴され…。孤高の一法学者がたどる転落の道を描く。39歳で早逝した天才作家のデビュー作。

朝日新聞 2022/03/05

2016:9./ 549p
978-4-309-41480-5

¥1,430〔税込〕



夜明け前の殺人(実業之日本社文庫 つ 5-1)

辻 真先 著
実業之日本社

千秋楽の舞台上で主演女優が服毒死した。警察は自殺と断定、捜査を打ち切ってしまう。弟の祐介は他殺の疑いを拭い去れず、9年後、姉と同じ劇団に入団。かつての関係者を訪ねるが…。ミステリの技巧を凝らした長編。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 367p
978-4-408-55713-7

¥836〔税込〕



軽石～海底火山からのメッセージ～

加藤 祐三 著
八坂書房

大噴火、地震、漂流、漂着…。海岸に打ち上げられ、見向きもされない軽石。しかし、そこには“雄大な自然史”が刻まれていた。小さな軽石の波瀾万丈記。海岸での軽石観察・実験の手引付き。

朝日新聞 2022/03/05

2009:4./ 264p
978-4-89694-930-8

¥2,640〔税込〕





帝国主義国の軍隊と性～売春規制と軍用性的施設～

林 博史 著
吉川弘文館

帝国主義諸国の軍隊の性暴力・性的搾取の一形態としての軍用性的施設を対象を絞り、英国を中心にフランス・ドイツ・米国などの売春管理政策を比較・分析。世界史的視座から日本軍「慰安婦」制度の位置づけと特徴に迫る。

朝日新聞 2022/03/05

2021:12./ 11p,472p
978-4-642-03912-3

¥4,180〔税込〕



哲学で抵抗する(集英社新書 1101)

高桑 和巳 著
集英社

哲学とは知的な抵抗である。漁民の反抗、奴隷戦争など、明瞭な抵抗のイメージをともなうものを例として挙げ、「哲学で抵抗する」ことについて考える。世界のちょっと変わった見えかたを示し、哲学する心を誘う入門書。

朝日新聞 2022/03/05

2022:1./ 216p
978-4-08-721201-3

¥902〔税込〕



STORIES～藤田新策作品集～

藤田 新策 著
玄光社

藤田新策の絵は物語であり、幻想世界である。スティーヴン・キングや宮部みゆき、ディーン・クーンツなど、国内外の著名作家の小説の装画を数多く手がけてきたイラストレーター・藤田新策が自らセレクトした作品集。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 223p
978-4-7683-1587-3

¥3,850〔税込〕



火山大国日本この国は生き残れるか～必ず起きる富士山大噴火と超巨大噴火～

巽好幸 著
さくら舎

日本には、いつ噴火してもおかしくない「待機火山」が300もある。噴火や火山についてわかってきたことを、最新の科学に基づいて解説し、いま何をすべきかを明らかにする。日本列島の待機火山分布地図なども収録。

朝日新聞 2022/03/05

2019:1./ 229p
978-4-86581-182-7

¥1,650〔税込〕



妻六法

森 公任／森元みのり 著
扶桑社

夫、子ども、義理の親、仕事のこと…。幸せな人生を送るための手助けになる法律を、ケースごとに紹介。最も関係の深い条文や条約を紹介し解説するほか、具体的なアクションを起こす際の手順や、実例なども掲載する。

朝日新聞 2022/03/05

2022:1./ 207p
978-4-594-09041-8

¥1,760〔税込〕





修道女フィデルマの采配(創元推理文庫 修道女フィデルマ短編集 Mト6-19)

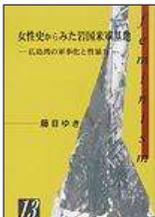
ピーター・トレメイン 著
東京創元社

法廷弁護士にして裁判官の資格を持つ美貌の修道女フィデルマが、アイルランドの各地を巡り難事件を解決する。小王国の族長の跡継ぎを選定する会合で、有力な候補者を毒殺した犯人を推理する「法定推定相続人」等全5編を収録。

朝日新聞 2022/03/05

2022:2./ 251p
978-4-488-21825-6

¥1,034〔税込〕



女性史からみた岩国米軍基地〜広島湾の軍事化と性暴力〜(hiroshima・1000シリーズ)

藤目 ゆき 著
ひろしま女性学研究所

本州唯一の米海兵隊基地が置かれている山口県岩国市では、米軍性暴力が現在進行形の問題であるにも関わらず、公に記憶されず封印されている。基地の周辺でくりかえされてきた女性に対する暴力に焦点をあて、基地問題を考える。

朝日新聞 2022/03/05

2010:10./ 226p
978-4-907684-26-6

¥1,650〔税込〕



津田梅子〜科学への道、大学の夢〜

古川 安 著
東京大学出版会

優れた生物学研究者だった津田梅子。一次史料にもとづいて、科学史の視点からこれまでの伝記とは異なる津田梅子像を描出し、梅子と科学の関わりを、当時の日本の科学・教育・社会の文脈から分析。その意味を考察する。

朝日新聞 2022/03/05

2022:1./ 2p,198p,12p
978-4-13-023078-0

¥3,080〔税込〕



占領軍被害の研究

藤目 ゆき 著
六花出版

連合国対日占領期の日本では、占領軍に起因する事件や事故によって民間人が死傷する事案が無数に発生した。占領軍被害と国家補償請求運動の歴史像を示し、その意義を明らかにする。ジャケットそでにテキストデータ引換券あり。

朝日新聞 2022/03/05

2021:12./ 8p,424p
978-4-86617-157-9

¥6,160〔税込〕



忘却の野に春を想う

姜 信子/山内 明美 著
白水社

朝鮮からのコメ難民の一族に生まれた姜信子と、南三陸のコメ農家に生まれた歴史社会学者・山内明美による、近代を問い、命を語る往復書簡。白水社ウェブサイト連載に加筆修正。

朝日新聞 2022/03/05、東京・中日新聞 2022/03/13

2022:1./ 256p
978-4-560-09877-6

¥2,420〔税込〕





大邱の夜、ソウルの夜(Korocolor's GraphicNovel with Basue 001)

ソン アラム 著

ころから

韓国第3の都市、大邱からの脱出を試みるエディター志望のコンジュ。ソウル育ちのイラストレーター、ホンヨンは「男なんてもうまっぴら」のはずだった。女たちの友情を描いた韓国の漫画家ソン・アラムの作品を日本語訳。

朝日新聞 2022/03/05、東京・中日新聞 2022/03/20

2022:2./ 172p
978-4-907239-59-6

¥1,980〔税込〕



アンラーン～人生 100 年時代の新しい「学び」～

柳川 範之／為末 大 著

日経 B P 社

これまで身につけた思考のクセを取り除く「アンラーン」の技術と、それを人生とキャリアの武器にする方法を紹介。足元の状況や価値観がどれだけ変化しても、ビジネス・勉強で活躍&自己実現し続けるための一冊。

朝日新聞 2022/03/05、日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 254p
978-4-296-00053-1

¥1,760〔税込〕



不思議の国ニッポン～海外メディアは見た～(講談社現代新書 2651)

クーリエ・ジャポン 編

講談社

なぜ日本人は銀メダルでも謝罪するのか？なぜ日本人の自殺率は高いのか？なぜ日本人は義理チョコを贈るのか？外国人記者たちの疑問を列挙する。海外メディアだから書けた、日本の「いま」、そして「未来」。

朝日新聞 2022/03/05、日本経済新聞 2022/03/12

2022:2./ 252p
978-4-06-527484-2

¥990〔税込〕



殺人鬼フジコの衝動(徳間文庫 ま 19-1)

真梨 幸子 著

徳間書店

朝日新聞 2022/03/12

2011:5./ 429p
978-4-19-893367-8

¥712〔税込〕



日本語の大疑問～眠れなくなるほど面白いことばの世界～(幻冬舎新書 こ-26-1)

国立国語研究所 著

幻冬舎

「シミュレーション」を「シュミレーション」とつい発音してしまうのはなぜ？「確認させていただいてもよろしいですか」は乱れた日本語？ことばのスペシャリストが集う国立国語研究所が、素朴だが奥深い疑問に答える。

朝日新聞 2022/03/12

2021:11./ 262p
978-4-344-98637-4

¥1,012〔税込〕





＜叱る依存＞がとまらない

村中 直人 著
紀伊國屋書店出版部

「叱る」には依存性があり、エスカレートしていく。その理由は脳の「報酬系回路」にある。「叱る」という行為の本質を科学の知見や社会で起きている出来事をもとに見つめ直し、＜叱る依存＞を回避するためのヒントを伝授する。

朝日新聞 2022/03/12

2022:2./ 205p
978-4-314-01188-4

¥1,760〔税込〕



731 部隊全史～石井機関と軍学官産共同体～

常石 敬一 著
高文研

731 部隊を組織の一部とした石井機関。陸軍軍医学学校防疫研究室を中心に「軍」に限らず「産・官・学」まで取り込んでいった巨大組織・石井機関の戦前・戦中・戦後に迫り、戦争と科学の関係を問いなおす。

朝日新聞 2022/03/12

2022:2./ 415p
978-4-87498-783-4

¥3,850〔税込〕



我が友、スミス

石田 夏穂 著
集英社

U野は筋トレに励む会社員。自己流のトレーニングをしていたところ、O島からボディ・ビル大会への出場を勧められる。大会で結果を残すには筋肉のみならず「女らしさ」も鍛えなければならず…。『すばる』掲載に加筆修正。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 139p
978-4-08-771788-4

¥1,540〔税込〕



お楽しみはこれからだ～映画の名セリフ～ 愛蔵版

和田誠 著
国書刊行会

イラストレーター・エッセイストなどとして活躍した和田誠の代表作である映画エッセイの名著の愛蔵版。記憶に残る＜映画の名セリフ＞をイラストレーションとともに紹介する。村上春樹の書き下ろしエッセイを掲載した葉を付す。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 251p
978-4-336-07300-6

¥2,970〔税込〕



短編ミステリの二百年<6>(創元推理文庫 M ン 7-6)

小森 収 編
レンデル、ブランド他 著
東京創元社

およそ 200 年、3 世紀にわたる短編ミステリの歴史を彩る名作・傑作を評論家が厳選。6 は、編者が“20 世紀最高のミステリ短編”とする「ジェミニー・クリケット事件」など全 12 編と、編者による評論を収録。完結。

朝日新聞 2022/03/12

2021:12./ 605p
978-4-488-29907-1

¥1,540〔税込〕





天体建築論～レオニドフとソ連邦の紙上建築時代～

本田 晃子 著
東京大学出版会

ソヴィエト・ロシアの紙上建築時代を代表するイワン・レオニドフの構成主義時代の作品を論じる。また、ロシア建築文化の全体主義化の過程において紙上建築が果たした役割を、レオニドフの創作活動の変転と対照しつつ考察する。

朝日新聞 2022/03/12

2014:3./
13p,322p,21p 図版
14p
978-4-13-066854-5
¥6,380〔税込〕



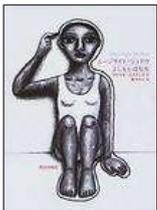
「欲しい!」はこうしてつくられる～脳科学者とマーケターが教える「買い物」の心理～

マット・ジョンソン／プリンス・ギューマン 著
白揚社

なぜ広告の時計の針は、10時10分を指しているのか。なぜファストフード店のロゴは、赤と黄色なのか。かしこく買い物するために知っておきたい行動経済学や心理学、マーケティングを、わかりやすく解説する。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 373p,30p
978-4-8269-0234-2
¥2,750〔税込〕



ムーンライト・シャドウ

よしもと ばなな、マイケル・エメリック、原 マスミ 著
朝日出版社

愛する人との出会い、そして永遠の別れ。味わったことのない孤独、底なしの喪失感に苦しむ主人公は、未来に向かって歩き出す。88年福武書店刊「キッチン」に収められた「ムーンライト・シャドウ」の英文対訳。

朝日新聞 2022/03/12

2003:7./ 119p
978-4-255-00195-1
¥1,408〔税込〕



AI 監獄ウイグル

ジェフリー・ケイン 著
新潮社

顔と声を記録する「健康検査」、DNA採取、移動・購入履歴ハッキング、密告アプリ、そしてAIが「信用できない人物」を選ぶ...。少女の危険な逃避行を軸に、「デジタルの牢獄」と化したウイグルの恐るべき実態を描き出す。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 333p
978-4-10-507261-2
¥2,420〔税込〕



図説日本妖怪史(ふくろうの本)

香川 雅信 著
河出書房新社

古代から、中世、江戸、現代まで、それぞれの時代の資料を丹念に紐解くことによって、妖怪たちがたどってきた歴史をオールカラーのビジュアルで紹介する。「妖怪としての鹿」「髪切り-怪異から妖怪へ」などのコラムも収録。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 127p
978-4-309-76309-5
¥2,365〔税込〕





名人 粹人 奇人～横井洋司写真集～

横井 洋司 著
小学館

志ん朝の「文七元結」、談志の「芝浜」、圓生の「首提灯」、小さんの「禁酒番屋」
…。落語ファンの間で今なお語り継がれる名人の名場面を満載したモノクロ写真集。
講談、浪曲、色物も含め、95人 130枚を収録。

朝日新聞 2022/03/12

2022:3./ 143p
978-4-09-682382-8

¥2,750〔税込〕



私以外みんな不潔(幻冬舎文庫 の-9-3)

能町みね子 著
幻冬舎

勝手に他のつまらない子供に、私のなかに入ってこられるのはごめんである。北海道から茨城に引っ越してきた、か弱くも気高い5歳の「私」の日常を描く、能町みね子初の自伝的私小説。

朝日新聞 2022/03/12

2022:2./ 180p
978-4-344-43169-0

¥660〔税込〕



ニューロダイバーシティの教科書～多様性尊重社会へのキーワード～

村中直人 著
金子書房

人間理解の新たな視点である「ニューロダイバーシティ」の入門書。その概念をはじめ、脳や神経由来の違いという「内側のメカニズムの違い」から人を理解するとはどういうことなのか等について説明する。

朝日新聞 2022/03/12

2020:12./ 5p,133p
978-4-7608-3042-8

¥1,980〔税込〕



ニセ姉妹(中公文庫 や74-1)

山崎 ナオコーラ 著
中央公論新社

浮気した夫と離婚後、姉と妹と共同生活するも息苦しさを感じていたシングルマザーの正子。そこに友人たちが転がり込み、気が合う人と暮らしたいと思い…。家族のメンバーチェンジ物語。阿佐ヶ谷姉妹との鼎談も収録。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 315p
978-4-12-207172-8

¥858〔税込〕



めぐり逢いサンドイッチ(角川文庫 た91-1)

谷 瑞恵 著
KADOKAWA

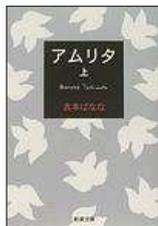
韮公園にある「ピクニック・バスケット」は、笹子と落子の姉妹が営む手作りサンドイッチの専門店。子供のころの記憶に苦しむOLや、父の再婚に悩む少女-迷える人々の心を、絶品サンドイッチが癒やす優しくも愛おしい物語。

朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 269p
978-4-04-112067-5

¥704〔税込〕





アマリタ<上巻>(新潮文庫)

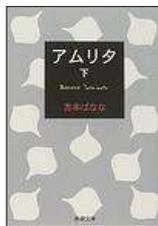
吉本 ばなな 著

新潮社

朝日新聞 2022/03/12、読売新聞 2022/03/13

2002:9./ 295p
978-4-10-135914-4

¥605〔税込〕



アマリタ<下巻>(新潮文庫)

吉本 ばなな 著

新潮社

朝日新聞 2022/03/12、読売新聞 2022/03/13

2002:9./ 308p
978-4-10-135915-1

¥605〔税込〕



ミトンとふびん

吉本 ばなな 著

新潮社

たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて生きていく。今日もまわりつづける地球上でめぐりゆく出会いと、ちいさな光に照らされた人生のよろこびを描いた短篇集。『新潮』等掲載を単行本化。

2021:12./ 253p
978-4-10-383412-0

¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2022/03/12、読売新聞 2022/03/13



デジタルシルクロード～情報通信の地政学～

持永 大 著

日本経済新聞出版社

気鋭の論者が、地政学、安全保障、国際政治におけるパワーの行使という独自の観点から、中国の「一帯一路」戦略のデジタル分野での取り組みを読み解く。さらに中国の技術・経済・外交的な影響力拡大の状況と対抗策を示す。

2022:1./ 291p
978-4-532-32452-0

¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2022/03/12、日本経済新聞 2022/03/19



陰謀論 THE 3名様 Q ～CIAの日常～(ヤングチャンピオン・コミックス)

石原まこちん 著

秋田書店

UMA、UFO、大領選、有名人の偽物……古今東西、様々な陰謀論や都市伝説は彼らの工作だった!? CIA達は今日も世に混沌をもたらし、大国の利益を守るために様々な工作を行う…! 一方、ヒラ職員である3人の男は、上司への愚痴、なんだかしょぼい工作について駄弁っていた… 「THE3名様」の石原まこちんが贈る、令和最新「陰謀論コメディ」ここに開幕! 「ムーNEWS」掲載の伝説的プロトタイプも掲載!!

2022:2./ 176p
978-4-253-30218-0

¥792〔税込〕



朝日新聞 2022/03/19



隠蔽捜査(新潮文庫)

今野 敏 著

新潮社

朝日新聞 2022/03/19

2008:1./ 409p
978-4-10-132153-0

¥781〔税込〕





新敬語「マジヤバイっす」～社会言語学の視点から～

中村 桃子 著

現代書館

「そうっすね」「マジっすか」など、ヤンキー、ガテン系、体育会系の若者ことばといわれる「っす」言葉。日常会話からメディアまで、この言葉の使われ方を分析し、その形成過程と変化していく社会的意味づけを探る。

朝日新聞 2022/03/19

2020:3./ 221p
978-4-7684-7979-7

¥2,420〔税込〕



原本遠野物語～柳田國男自筆～ 影印

原本遠野物語編集委員会 著

岩波書店

「遠野物語」生成の過程を今に伝える資料。記述の息遣いを遺す「毛筆草稿」、書籍化の企図に満ちた「ペン字原稿」、朱字で修正された「初校」の影印を、初版本の版面とともに掲載する。解説も収録。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 7p,214p
978-4-00-061512-9

¥5,500〔税込〕



「人それぞれ」がさみしい～「やさしく・冷たい」人間関係を考える～(ちくまプリマー新書 392)

石田 光規 著

筑摩書房

「人それぞれ」という言葉には、個々の違いを尊重する一方、相手に踏みこむのを避けようとする側面がある。「人それぞれ」と言うことで、相手との距離を保とうとする人間関係のありかたや社会に隠れた息苦しさなどを考察する。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 192p
978-4-480-68417-2

¥902〔税込〕



帝国をつなぐ<声>～日本植民地時代の台湾ラジオ～

井川 充雄 著

ミネルヴァ書房

1928年11月の御大礼を中継するべく、「外地」や満洲国も含めた放送網の整備を進めた日本のラジオ放送。台湾を舞台に、帝国をつなぐ<声>として機能した初期ラジオの実相を明らかにする。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 5p,247p,4p
978-4-623-09279-6

¥7,700〔税込〕



ベルリンは晴れているか(ちくま文庫 ぶ 56-1)

深緑 野分 著

筑摩書房

1945年7月、4カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり…。歴史ミステリ。

朝日新聞 2022/03/19

2022:3./ 537p
978-4-480-43798-3

¥990〔税込〕





「シティポップの基本」がこの 100 枚でわかる!(星海社新書 211)

栗本 斉 著
星海社

1970 年代から 80 年代にかけて日本で誕生した音楽ジャンル「シティポップ」のディスクガイド。その歴史に燦然と輝く名盤から先人の遺伝子を受け継ぎ昇華する次世代盤まで、シティポップを紐解く必聴の 100 枚を紹介する。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 253p
978-4-06-527086-8

¥1,100 [税込]



すごい物理学講義(河出文庫 口 3-1)

カルロ・ロヴェッリ 著
河出書房新社

アインシュタインの光量子仮説や量子力学、最新物理のループ量子重力理論について解説しながら、古代の哲学者デモクリトスの原子論にも言及した、現代物理学の概説書。科学の歩みにおける「無知の自覚」の大切さも説く。

朝日新聞 2022/03/19

2019:12./ 361p,18p
978-4-309-46705-4

¥1,078 [税込]



日本のポストフェミニズム～「女子力」とネオリベリズム～

菊地 夏野 著
大月書店

ナンシー・フレイザーの理論を用いて、ネオリベリズムをフェミニズムの立場から考察する際に必要な理論的土台を検討。英米のポストフェミニズム論を読み解き、日本の「ネオリベラル・ジェンダー秩序」を、理論的に批判する。

朝日新聞 2022/03/19

2019:3./ 10p,196p
978-4-272-35045-2

¥2,640 [税込]



<稿本・大名家本>伊能図研究図録

平井 松午／島津 美子 編
創元社

伊能図を所蔵する主要 16 機関から、約 150 点を紹介する図録。料紙や彩色、針穴(針孔)、描画・記載内容など、伊能忠敬が作製した地図を構成するモノと情報の分析を通して、伊能図の実像に迫る。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 342p
978-4-422-22010-9

¥16,500 [税込]



「させていただく」の使い方～日本語と敬語のゆくえ～(角川新書 K-381)

椎名 美智 著
KADOKAWA

違和感があるのに多用してしまう「させていただく」は、相手への敬意より自分のため? 「させていただく」の使用拡大と慇懃無礼な印象という矛盾した両面の謎を、身近な例をあげながら、語用論のアプローチで解き明かす。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 221p
978-4-04-082414-7

¥990 [税込]





探花(隠蔽捜査 9)

今野 敏 著
新潮社

横須賀基地近くで殺人事件が発生。米海軍犯罪捜査局が捜査に加わる異例事態に。一方、竜崎の同期でトップ入庁の警察官僚・八島が神奈川県警に赴任してくる。彼には不穏な噂がつきまとい…。『小説新潮』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 334p
978-4-10-300261-1

¥1,815 [税込]



俳句の臨界～石川九楊作品集～

石川 九楊、河東 碧梧桐 著
左右社

季語からも音数律からも自由な近代的短詩を夢想し、芭蕉の手から俳句を取り戻そうとした河東碧梧桐。その忘れられた挑戦の生涯をたどる 109 句を書家・石川九楊が選び、語り、書くことで、書家でもあった碧梧桐と対峙する。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 238p
978-4-86528-069-2

¥3,850 [税込]



近代日本メディア人物誌<ジャーナリスト編>

土屋 礼子、井川 充雄 著
ミネルヴァ書房

近代日本におけるメディアの歴史を、ジャーナリストたちの活躍から読み解く。明治期から戦後まで、42名のジャーナリストを取り上げ、彼らが何と闘い、いかに表現してきたのかを明らかにする。年表、人名索引、事項索引付き。

朝日新聞 2022/03/19

2018:1./ 11p,311p
978-4-623-07482-2

¥2,750 [税込]



テルマエと浮世風呂～古代ローマと大江戸日本の比較史～(NHK 出版新書 671)

本村 凌二 著
NHK出版

古代ローマと江戸日本にはどのような相似や相違が生まれたのか。アッピア街道と東海道から権力のあり方を考え、ワインと日本酒から民衆の暮らしに思いを馳せる、新感覚の歴史エッセイ。『テンミニッツ TV』配信を書籍化。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 216p
978-4-14-088671-7

¥913 [税込]



官僚制と公文書～改竄、捏造、忖度の背景～(ちくま新書 1407)

新藤 宗幸 著
筑摩書房

公文書の改竄、エビデンスの捏造…。いつから日本の官僚機構は壊れてしまったのか。人事を含めた組織構造、意思決定、情報公開法や公文書管理法など、官僚統制のシステムを問いなおし、「官邸主導」の暴走をえぐる。

朝日新聞 2022/03/19

2019:5./ 250p
978-4-480-07223-8

¥902 [税込]





ブラック・ライヴズ・マター運動誕生の歴史

バーバラ・ランスビー 著
彩流社

合衆国の自警団や警察官による黒人に対する暴力が引き金となって興ったブラック・ライヴズ・マター運動。その誕生の瞬間に立ち会い、多くの活動家や団体と足並みを揃えて闘い続けているアクティヴィストの研究成果を収録する。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 230p,80p
978-4-7791-2785-4

¥3,850〔税込〕



子どもが心配~人として大事な三つの力~(PHP 新書 1298)

養老 孟司 著
P H P 研究所

子どもは本来“自然”に近い存在であるとする養老孟司が、都市化が進んだ現代の子どもが幸せになる教育について、「ケーキの切れない非行少年たち」著者や、小児科医、世界的な脳研究者、自由学園学園長と語り合う。

朝日新聞 2022/03/19

2022:3./ 214p
978-4-569-85139-6

¥990〔税込〕



新・雲のカタログ~空がわかる全種分類図鑑~

村井 昭夫／鶴山 義晃 著
草思社

世界気象機関(WMO)によって約 100 種類に分類された雲をすべて網羅し、写真と学術的名称を紹介。雲観察にすぐ役立つ基本的な知識やワザも解説する。「レア度ランク」付き。2017 年改訂の WMO の分類に準拠。

朝日新聞 2022/03/19

2022:3./ 167p
978-4-7942-2567-2

¥2,750〔税込〕



権力にゆがむ専門知~専門家はどう統制されてきたのか~(朝日選書 1026)

新藤宗幸 著
朝日新聞出版

政治・行政はなぜ「専門知」を取り込もうとするのか。期待するのは科学的助言か、政策を正当化するための世論動員か。占領期から新型コロナ対策まで、その社会的責任を考える。「新自由主義にゆがむ公共政策」の続編。

朝日新聞 2022/03/19

2021:12./ 249p
978-4-02-263116-9

¥1,760〔税込〕



昔話の扉をひらこう

小澤 俊夫 著
暮しの手帖社

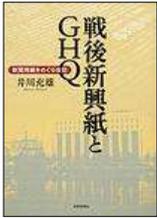
昔話は、あたたかい目で人生の本質を語り、「大丈夫だよ」と励ましてくれる。国際的な昔話研究者・小澤俊夫が、その豊かな世界を案内する。日本の昔話 14 話、グリム童話 3 話も収録。巻末に 2 人の息子と語る親子鼎談付き。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 221p
978-4-7660-0225-6

¥1,999〔税込〕





戦後新興紙とGHQ～新聞用紙をめぐる攻防～

井川 充雄 著
世界思想社

戦後日本における新聞用紙割当制度の成立と実体および新興紙の盛衰に着目し、アメリカが日本人に啓蒙しようとした「言論の自由」の本質を実証的に明らかにする。

朝日新聞 2022/03/19

2008:11./ 318p
978-4-7907-1368-5

¥3,520〔税込〕



廃墟からの歌声～原爆投下後の傷害調査にたずさわった遺伝学者の回想～

W.J.シャル／利島 保 著
新曜社

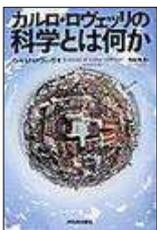
戦後來日し、被爆児童の研究にたずさわったアメリカ原爆傷害調査委員会(ABCC)遺伝学部長がみた戦後初期の日本と庶民生活とは。日本の変貌と時代を超越した特性を鋭い観察眼で捉えた回想録。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 6p,399p,5p
図版 16p

978-4-7885-1751-6

¥4,730〔税込〕



カルロ・ロヴェッリの科学とは何か

カルロ・ロヴェッリ 著
河出書房新社

大地=地球が虚空中に浮かんでいることを、世界で最初に見抜いた古代ギリシアの科学者アナクシマンドロス。現代の科学者の視点から、彼の思想の重要性や、それがもたらした遺産について検討し、科学的思考の本質をえぐり出す。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 275p
978-4-309-25441-8

¥2,310〔税込〕



どこでも成果を出す技術～テレワーク&オフィスワークでなめらかに仕事をするための8つのスキル～

沢渡 あまね 著
技術評論社

働く場所に縛られない、新時代の仕事術を伝授。テレワークで高い成果を上げるためのコミュニケーションとセルフマネジメントにフォーカスし、働く個人の視点に立った対応方法や、技術を高めるポイントを紹介する。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 222p
978-4-297-12533-2

¥1,628〔税込〕



大竹彩奈画集 いつか

大竹 彩奈 著
芸術新聞社

美しい人は人を幸せにするのだ。資生堂のパッケージをはじめ横溝正史など数々の装画を手がける日本画家・大竹彩奈の初画集。ありのままの女性美を追求した、和服の美人画 104 点を収録する。画家・池永康晟との対談も掲載。

朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 143p
978-4-87586-629-9

¥3,080〔税込〕





幕府軍艦「回天」始末 新装版(文春文庫 よ 1-57)

吉村 昭 著
文藝春秋

明治2年3月25日の夜明け、宮古湾に碇泊している新政府軍の艦隊を、旧幕府軍の軍艦「回天」が襲った。徹底した事実主義に基づき、海戦の実相を眼前に見ているように描いた会心の歴史小説。

朝日新聞 2022/03/19

2022:3./ 204p
978-4-16-791846-0

¥726〔税込〕



読んで旅する鎌倉時代(講談社文庫 た 88-56)

高田 崇史／赤神 諒／阿部 暁子／天野 純希／小栗 さくら／近衛 龍春／鈴木 英治
／砂原 浩太郎／武内 涼／鳴神 響一／松下 隆一／矢野 隆／吉森 大祐 著

講談社

頼朝が北条政子と激しい恋の末に結ばれた伊豆山神社、後に袂を分かち義経と対面した八幡神社、幕府の崇敬を集めるも実朝暗殺の地となった鶴岡八幡宮…。鎌倉殿ゆかりの13の地を舞台にした短編小説集。地図と写真も収録。

朝日新聞 2022/03/19

2022:2./ 297p
978-4-06-526983-1

¥737〔税込〕



名探偵と海の悪魔

スチュアート・タートン 著
文藝春秋

17世紀。バタヴィアからオランダへ向かう帆船で起こる怪事件。だが名探偵は罪人として護送される途上で牢にいる。元兵士の助手アレントは、頭脳明晰なバタヴィア総督夫人サラとともに捜査を開始するも、密室で殺人が!

朝日新聞 2022/03/19、産経新聞 2022/03/20

2022:2./ 439p
978-4-16-391507-4

¥2,750〔税込〕



母の待つ里

浅田 次郎 著
新潮社

家庭も故郷もない還暦世代の3人の男女の元に舞い込んだ<理想のふるさと>への招待。奇妙だけれど魅力的な誘いに半信半疑で向かった先には、かけがえのない<母>との出会いが待っていて…。『小説新潮』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/03/19、読売新聞 2022/03/27

2022:1./ 297p
978-4-10-439406-7

¥1,760〔税込〕



難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方

中村 恵 著
平凡社

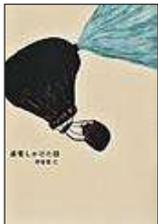
日本人初・女性初の国連難民高等弁務官として10年間、世界中の紛争地をめぐり、難民支援に携わった緒方貞子。退任後の数年間、パーソナル・アシスタントとして緒方の姿を見続けた著者が、その生涯と強みについて語る。

朝日新聞 2022/03/19、毎日新聞 2022/03/26

2022:2./ 211p,35p
978-4-582-83893-0

¥1,870〔税込〕





感電しかけた話

伊舎堂仁 著
書肆侃侃房

ワンルームばかり並んでいる町の小学校はなんなんだろう 小・中・高楽しかったやつ特有の「延滞料金すごくなった」 最近キャップのつばを反対っかわにしてから帰っています 第2歌集。

朝日新聞 2022/03/20

2022:2./ 117p
978-4-86385-511-3

¥1,870〔税込〕



はッピーなっつ

荒井良二 著
ブロンズ新社

「わたしのみみは、ときどきとおくへたびをするんだよ...」 あたらしい季節のはじまりには、とびっきりのはッピーがつまってる! 春からはじまり、夏秋冬とコマ割りをつづく、季節を旅する絵本。

朝日新聞 2022/03/26

2022:3./ 1冊(ページ付なし)

978-4-89309-704-0

¥1,540〔税込〕



忘却のための「和解」～『帝国の慰安婦』と日本の責任～

鄭 栄桓 著
世織書房

「和解」とは何か。朴裕河「帝国の慰安婦」と礼賛論の主張をそれぞれ検証。同書には日本軍慰安婦制度についての日本軍の責任の矮小化、被害者たちの「声」の恣意的な利用などの致命的な問題があることを指摘する。

朝日新聞 2022/03/26

2016:3./ 5p,196p
978-4-902163-86-5

¥1,980〔税込〕



北條民雄集(岩波文庫 31-227-1)

田中 裕 編
岩波書店

19歳でハンセン病の宣告を受け、23歳で夭折した北條民雄。隔離された療養所で差別・偏見に抗しつつ記した言葉は、絶望の底から復活する生命への切望を証する文学となった。小説、随筆など彼の文業を精選して収録する。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 373p
978-4-00-312271-6

¥935〔税込〕



オークション理論とデザイン

ポール・ミルグロム 著
東洋経済新報社

オークションの理論と実践、デザインについて包括的に説く。数学的に厳密な形でオークション理論全体を解説し、また基本的命題の含意とその実践的意義についてわかりやすく説明する。

朝日新聞 2022/03/26

2007:11./ 419p
978-4-492-31385-5

¥5,940〔税込〕





ニッポンの違和感

松尾 貴史 著
毎日新聞出版

コロナ政策、忖度するメディア、疑惑の権力者たち、上がらない投票率…。見過ごせないこの国の不都合な現実を感じる“違和”を綴る。池上彰との対談も収録。『毎日新聞』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2022/03/26

2020:8./ 235p
978-4-620-32645-0

¥1,540〔税込〕



ニッキーとヴィエラ〜ホロコーストの静かな英雄と救われた少女〜

ピーター・シス 著
B L 出版

その人が救ったのは、669 人の子どもの命、そして未来だった。第二次世界大戦中、ナチスからチェコスロバキアのユダヤ人の子どもを逃がしたイギリス人男性ニッキーと、ユダヤ人の女の子ヴィエラ、その 2 人の物語。

朝日新聞 2022/03/26

2022:3./ 64p
978-4-7764-1042-3

¥2,420〔税込〕



はじめての

島本 理生／辻村 深月／宮部 みゆき／森 絵都 著
文藝春秋

テーマは「はじめて〇〇したときに読む物語」。島本理生、辻村深月、宮部みゆき、森絵都の 4 人の直木賞作家と、“小説を音楽にする”ユニット・YOASOBI のコラボレーションから生まれたアンソロジー。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 220p
978-4-16-401004-4

¥1,760〔税込〕



大人も知らない?ふしぎ現象事典

「ふしぎ現象」研究会 編
マイクロマガジン社

テストの前の日になると部屋の掃除がしたくなる。本屋にいるとなぜかトイレに行きたくなる…。身の回りによくある現象や体の不思議な現象の名前を紹介。楽しいイラストや、ふしぎ現象コラムも掲載する。

朝日新聞 2022/03/26

2021:7./ 127p
978-4-86716-159-3

¥1,100〔税込〕



満腹の情景〜“日本の食”の現在〜

木村 聡 著
花伝社

われわれは今、「食べる」という営みのためにどんな景観を作り出しているのか。原発事故等に翻弄される伝統の現場から最新の植物工場まで、日本の新しい“食の情景”を見つめたフォトエッセイ。『週刊金曜日』連載を加筆修正。

朝日新聞 2022/03/26

2019:5./ 227p
978-4-7634-0885-3

¥1,870〔税込〕





見るレッスン～映画史特別講義～(光文社新書 1107)

蓮實 重彦 著

光文社

映画を見る際に重要なのは、異質なものに晒され、葛藤すること。シネマの生き字引がサイレント、ドキュメンタリー、ヌーベル・バーグから現代まで120年を超える歴史を案内。作品の最も優れた瞬間で刮目する方法を指南する。

朝日新聞 2022/03/26

2020:12./ 203p
978-4-334-04515-9

¥902〔税込〕



その名を暴け～#MeTooに火をつけたジャーナリストたちの闘い～

ジョディ・カンター、ミーガン・トゥーイー 著

新潮社

映画界で「神」とも呼ばれた有名プロデューサー、ハーヴェイ・ワインスタインは、長年、女優や女性従業員に権力を振りかざし、性的暴行を重ねてきた。その実態を炙り出し、世界を動かした調査報道の軌跡を描く。

朝日新聞 2022/03/26

2020:7./ 408p
978-4-10-507171-4

¥2,365〔税込〕



違和感ワンダーランド

松尾 貴史 著

毎日新聞出版

火事場泥棒の利権優先の「芸風」、学会会議任命拒否問題、差別発言連発、感染拡大中の五輪開催…。拭いきれない違和感に“NO”を突きつける！近田春夫との対談も収録。『毎日新聞』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2022/03/26

2022:1./ 245p
978-4-620-32724-2

¥1,540〔税込〕



プラスチックの祈り<下>(朝日文庫 し 55-2)

白石一文 著

朝日新聞出版

過去を探す壮大な旅に出た姫野は、自身の記憶とことごとく食い違う数々の証言に頭を抱える。妻は何故亡くなってしまったのだったか。何が事実なのだろうか。事実を事実たらしめているものとは一体何か。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 403p
978-4-02-265029-0

¥902〔税込〕



不謹慎な旅～負の記憶を巡る「ダークツーリズム」～

木村 聡 著

弦書房

旧大槌町役場と東北の震災遺構、戦争マラリアと八重山諸島…。戦争、天災、公害、差別、事故などの大きな悲劇を経験した場所を訪ね、現地の人々の声を写真とともに伝える。『週刊金曜日』連載を再構成。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 258p
978-4-86329-241-3

¥2,200〔税込〕





米旅・麵旅のベトナム

木村 聡 著

弦書房

鶏飯、トウモロコシ入りおこわ、フォーのかた焼きそば、カニ入り春雨の炒麺…。日本と似た食模様のある国ベトナムに通って 30 年近くになる著者が、ベトナムで食べた米料理や麺料理について綴る。写真 160 点収録。

朝日新聞 2022/03/26

2019:8./ 213p
978-4-86329-193-5

¥1,980〔税込〕



プラスチックの祈り<上>(朝日文庫 し 55-1)

白石一文 著

朝日新聞出版

妻の死以来、作家・姫野の身に奇妙な出来事が起きはじめた。故人である親友からの着信、模様が変容する新幹線の座席…。奇異はついに肉体に及び、姫野の身体はプラスチック化しては脱落を繰り返し始め…。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 385p
978-4-02-265028-3

¥880〔税込〕



オークション・デザイン〜ものの値段はこう決める〜

ポール・ミルグロム 著

早川書房

周波数帯の利用権配分に近年用いられているインセンティブ・オークション。複雑かつ画期的なこの仕組みは、どのように機能するのか？ ノーベル経済学賞受賞者が、マーケットデザインの最先端をコンパクトに説く。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 245p
978-4-15-210051-1

¥2,970〔税込〕



歴史のなかの朝鮮籍

鄭 栄桓 著

以文社

植民地支配からの解放後も日本で暮らし続けた朝鮮人たちに与えられた「朝鮮籍」。その歴史を、在日朝鮮人史、外国人登録と出入国管理制度の戦後史、国籍をめぐる日朝関係史といった一次史料から明らかにする。

朝日新聞 2022/03/26

2022:1./ 500p
978-4-7531-0368-3

¥5,060〔税込〕



チーム・バチスタの栄光(宝島社文庫 C か-1-17)

海堂 尊 著

宝島社

心臓移植の代替手術<バチスタ>手術専門の天才外科チームで原因不明の連続術中死が発生。不定愁訴外来の田口医師は病院長に命じられ内部調査を始めた。そこへ厚生労働省の変人役人・白鳥がやってきて…。傑作医療ミステリー。

朝日新聞 2022/03/26

2015:9./ 456p
978-4-8002-4642-4

¥858〔税込〕





後悔の経済学～世界を変えた苦い友情～(文春文庫 ル5-4)

マイケル・ルイス 著
文藝春秋

人の直感は何故間違えるか。その命題を突き詰めてあらゆる学問の常識を覆したカーネマンとトヴェルスキー。不合理な人間モデルを前提とした行動経済学を生んだ2人の天才科学者の友情と別れを描く。

朝日新聞 2022/03/26

2022:2./ 530p
978-4-16-791838-5

¥1,265〔税込〕



東京くねくね

松尾 貴史 著
東京新聞出版部

足掛け5年、有名な観光スポットから生活臭のする住宅街の裏路地まで、分け隔てなく東京23区と8市を徘徊した探訪記。街の秘密、楽しみや成りたちなどを紹介する。『東京新聞ほっとWeb』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/03/26

2017:5./ 255p
978-4-8083-1018-9

¥1,430〔税込〕



彼の名はウォルター

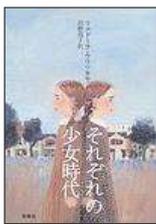
エミリー・ロッドダ 著
あすなろ書房

打ち捨てられたような不気味な屋敷で、コリンが見つけた奇妙な本。そこに描かれていたのは驚愕の真実だった…。オーストラリアの人気作家エミリー・ロッドダによる、スリルあふれる謎解きサスペンス。

朝日新聞 2022/03/26

2022:1./ 351p
978-4-7515-3074-0

¥1,760〔税込〕



それぞれの少女時代(群像社ライブラリー)

リュドミラ・ウリツカヤ 著
群像社

体と心の変化に気づきながら、性への好奇心をもてあましぎみに、大人の世界に近づいていく、ちょっとおませな同級生の女の子たち。いまロシアで最も愛されている女性作家が、素顔の少女たちを描いた連作短編集。

朝日新聞 2022/03/26

2006:7./ 215p
978-4-903619-00-2

¥1,980〔税込〕



カメラの前で演じること～映画「ハッピーアワー」テキスト集成～

濱口 竜介、野原 位、高橋 知由 著
左右社

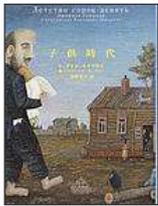
第68回カルノ国際映画祭で最優秀女優賞を受賞した映画「ハッピーアワー」の制作過程を通じ、カメラとは何か、演技とは何かを論じる。「ハッピーアワー」脚本とサブテキスト、自作解説付きフィルモグラフィを収録。

朝日新聞 2022/03/26

2015:12./ 305p
978-4-86528-134-7

¥2,750〔税込〕





子供時代(CREST BOOKS)

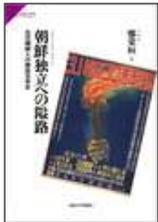
リュドミラ・ウリツカヤ、ウラジーミル・リュバロフ、沼野 恭子 著
新潮社

中庭のあるアパートに住む子供たちが出会った奇跡。祝福された、かけがえのない瞬間に、静かに心揺さぶられる 6 篇の物語を、ウラジーミル・リュバロフの絵とともに贈る連作短編集。

朝日新聞 2022/03/26

2015:6./ 124p
978-4-10-590118-9

¥1,980 [税込]



朝鮮独立への隘路～在日朝鮮人の解放五年史～(サピエンティア 29)

鄭栄桓 著
法政大学出版局

日本の敗戦後、朝鮮民族の解放はいかに封じこめられたのか。朝鮮戦争が勃発するまでの GHQ や日本政府による治安政策、人びとの抵抗、民族運動の実像を膨大な史料から描きだす。

朝日新聞 2022/03/26

2013:3./ 8p,351p,17p
978-4-588-60329-7

¥4,400 [税込]



奏鳴曲～北里と鷗外～

海堂 尊 著
文藝春秋

ドイツ留学を経て、ペスト菌を発見し、“日本の細菌学の父”の異名を持つ北里柴三郎。同時期にドイツで学び、軍医総監にまで上り詰めた森鷗外。感染症との終わりなき闘いに挑んだ 2 人の医師の「栄光」と「蹉跌」を描く。

朝日新聞 2022/03/26、産経新聞 2022/03/27

2022:2./ 453p
978-4-16-391500-5

¥2,200 [税込]



読書からはじまる(ちくま文庫 お 75-1)

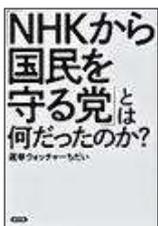
長田 弘 著
筑摩書房

最も長く、最も深く人類と共に在り続けてきた「本」というメディアは、私たちの想像よりもずっと優しく、あらゆることを許してくれる友人だ。ひとの世界への愛に溢れた珠玉の読書エッセイ。

東京・中日新聞 2022/03/05

2021:5./ 223p
978-4-480-43742-6

¥792 [税込]



「NHK から国民を守る党」とは何だったのか?

選挙ウォッチャーちだい 著
新評論

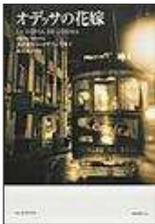
“計算された”炎上商法によって、国政政党にまで登りつめた「NHK から国民を守る党」。ジャーナリストとしてこの党を追いかけ、警鐘を鳴らし続けた著者が、政党の皮を被った反社カルトとのバトルのすべてを明らかにする。

東京・中日新聞 2022/03/06

2022:1./ 258p
978-4-7948-1197-4

¥1,650 [税込]





オデッサの花嫁

エドガルド・コサリンスキイ 著
インスクリプト

生きるためなら他人となるも厭わぬ、そんな人生の許された時代に大西洋を往還する者たちの運命…。ブエノス・アイレスの映画作家が、還暦からの新生を遂げた短編集。表題作をはじめ「不動産」「暗がりの愛」など全9編を収録。

東京・中日新聞 2022/03/06

2021:12./ 265p
978-4-900997-90-5

¥3,300〔税込〕



東京大空襲の戦後史(岩波新書 新赤版 1916)

栗原 俊雄 著
岩波書店

東京大空襲の被害に今なお苦しむ多くの人たち。国に対して救済を求めて立ち上がった空襲被害者たちの闘いを描きながら、この国の「戦後」とは何であったのかを問う。『毎日新聞』ニュースサイト連載を加筆、再構成し新書化。

東京・中日新聞 2022/03/06

2022:2./ 3p,212p,2p
978-4-00-431916-0

¥946〔税込〕



ブルシット・ジョブの謎～クソどうでもいい仕事はなぜ増えるか～(講談社現代新書 2645)

酒井 隆史 著
講談社

私たちはなぜブルシット・ジョブ(クソどうでもいい仕事)に苦しみ続けるのか? 資本主義や効率化が進めば進むほど無意味な仕事生まれる不思議。世界的現象の「謎」を解き明かす。

東京・中日新聞 2022/03/06、読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 254p
978-4-06-526659-5

¥1,012〔税込〕



ナナメの夕暮れ(文春文庫 わ25-2)

若林 正恭 著
文藝春秋

自意識に振り回されていたオードリーの若林。だが、40を手前にして変化が訪れる。「おじさん」になった若林が「生き辛さ」からいかに解放されたかを語る。文庫版のためのあとがき「明日のナナメの夕暮れ」を収録。

東京・中日新聞 2022/03/12

2021:12./ 266p
978-4-16-791805-7

¥759〔税込〕



なぜ人に会うのはつらいのか～メンタルをすり減らさない38のヒント～(中公新書ラクレ 750)

斎藤 環/佐藤 優 著
中央公論新社

対面で会うことは、必然的に暴力性をはらんでいる。メンタルの達人二人が、コロナ禍が明らかにした驚きの人間関係から、しんどい毎日を楽にする38のヒントを導き出す。『中央公論』掲載に加筆・修正したもの。

東京・中日新聞 2022/03/12

2022:1./ 247p
978-4-12-150750-1

¥946〔税込〕





縄文 vs. 弥生～先史時代を九つの視点で比較する～(ちくま新書 1624)

設楽 博己 著
筑摩書房

採集狩猟が中心の縄文時代と農耕を営み文明化や国家形成が進む弥生時代。二つの時代を比較し、農耕、漁撈、狩猟、通過儀礼、祖先祭祀、格差、ジェンダー、動物表現、土器という九つのキーワードで日本の起源を徹底検証する。

東京・中日新聞 2022/03/13

2022:1./ 296p
978-4-480-07451-5

¥1,012〔税込〕



日本橋に生まれて(本音を申せば)

小林 信彦 著
文藝春秋

東京は日本橋区のと菓子屋の、九代目の長男として生まれた小林信彦は、子供のころから映画を見てきて...。渥美清、野坂昭如、植木等、江戸川乱歩など、忘れがたい喜劇人や作家たちの横顔を綴る。『週刊文春』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/03/13

2022:1./ 275p
978-4-16-391492-3

¥2,420〔税込〕



追跡! 謎の日米合同委員会～別のかたちで継続された「占領政策」～

吉田 敏浩 著
毎日新聞出版

日本の従米構造を支え続けてきた「日米合同委員会」。この謎の組織の実態とは何か? 戦後の闇をめぐる松本清張の先駆的洞察を辿りつつ、米国による支配の核心を暴く。『サンデー毎日』連載を大幅加筆し単行本化。

東京・中日新聞 2022/03/13

2021:12./ 239p
978-4-620-32713-6

¥1,980〔税込〕



山狩

笹本稜平 著
光文社

伊予ヶ岳の山頂付近で発見された若い女性の死体。彼女は最近までストーカー被害にあっていて、加害者は名家の御曹司。さらにその家族が銃撃され...。犯罪の連鎖の果て、たどり着いた結末とは!? 『小説宝石』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/03/20

2022:1./ 417p
978-4-334-91442-4

¥1,870〔税込〕



女パンクの逆襲～フェミニスト音楽史～(ele - king books)

ヴィヴィエン・ゴールドマン 著
日販アイ・ピー・エス

女パンクの信念と実践を報告するフェミニスト音楽史。「アイデンティティ」「金」「愛」「プロテスト」という4つのテーマに分けて、パンクが女性にとっていかに解放的な芸術形態であるのかを探り、その歴史を解き明かす。

東京・中日新聞 2022/03/20

2021:12./ 351p
978-4-910511-03-0

¥2,970〔税込〕





おもちゃ～河井案里との対話～

常井 健一 著
文藝春秋

美貌の女性政治家として彗星のごとく登場し、わずか 11 か月で戦後最大級の選挙違反で逮捕された河井案里。彼女と交わしたメール、電話、インタビューから、マスクミを騒がせた「悪女」の素顔に迫る。

東京・中日新聞 2022/03/20

2022:2./ 382p
978-4-16-391470-1

¥1,980〔税込〕



黒島伝治作品集(岩波文庫 31-080-2)

紅野 謙介 編
岩波書店

動員された兵士、貧しい農民、民衆の哀しさを、抑制された文体と素朴なユーモア、見事な構成により短篇小説、随筆にまとめた作家・黒島伝治。「渦巻ける鳥の群」など全 18 篇を精選して収録。

東京・中日新聞 2022/03/26

2021:10./ 344p
978-4-00-310802-4

¥891〔税込〕



生き直す～免田栄という軌跡～

高峰 武 著
弦書房

1983 年、確定死刑囚から日本初の再審無罪となった免田栄。冤罪による 34 年間の獄中を生き抜いた彼が、再審無罪判決後の 37 年間の人生を、なぜ「生き直す」ことができたのか。稀有な人生を歩んだ、95 年の生涯をたどる。

東京・中日新聞 2022/03/27

2022:1./ 268p
978-4-86329-238-3

¥2,200〔税込〕



写真論～距離・他者・歴史～(中公選書 123)

港 千尋 著
中央公論新社

ニエプスによる最初の実験の成功から 200 年。試行錯誤を繰り返しながら成長した写真を、主に社会との関係において捉え直すとともに、それが人間の意識や記憶にとって、どのような役割を果たしてきたのかを考える。

東京・中日新聞 2022/03/27

2022:1./ 5p,282p
978-4-12-110123-5

¥2,090〔税込〕



田辺聖子十八歳の日の記録

田辺 聖子 著
文藝春秋

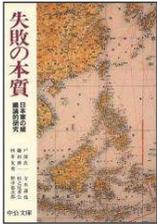
大空襲、敗戦、父の死、作家への夢…。2021 年に発見された、作家・田辺聖子が 1945～47 年の青春期を綴った日記。田辺文学の源泉にして、一級の時代の証言。『文藝春秋』掲載に雑誌未収録の日記、小説等を加え書籍化。

東京・中日新聞 2022/03/27

2021:12./ 269p
978-4-16-391474-9

¥1,760〔税込〕





失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著
中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4

¥838〔税込〕



読売新聞 2022/03/06



踏切の世界(旅鉄 BOOKS 051)

chokky 著
山と溪谷社

「こんな踏切があるの?」という変わった踏切や、「自動車ではない何か」が通る踏切など、全国のおもしろい踏切を紹介。さらに、踏切を構成する部品の機能やバリエーションなども解説する。動画にリンクしたQRコード付き。

2021:12./ 158p
978-4-635-82338-8

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2022/03/06



彼は早稲田で死んだ～大学構内リンチ殺人事件の永遠～

樋田 毅 著
文藝春秋

1972年、早稲田大学構内で1人の学生が虐殺された。その事件をきっかけに蜂起した一般学生の「自由」獲得への闘い。その時、キャンパスでは何が起きていたのか。渦中で理不尽な暴力と対峙し続けた著者による渾身のルポ。

2021:11./ 261p
978-4-16-391445-9

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2022/03/06



燕は戻ってこない

桐野 夏生 著
集英社

29歳、女性、独身、地方出身のリキは、非正規雇用ゆえに貧困にあえぐ。子宮・自由・尊厳を赤の他人に差し出し、東京で「代理母」となった彼女に、失うものなどあるはずがなかったが…。『すばる』連載を加筆修正し単行本化。

2022:3./ 445p
978-4-08-771761-7

¥2,090〔税込〕



読売新聞 2022/03/06



瀬戸内寂聴全集<21>

瀬戸内 寂聴 著
新潮社

80歳以降に書かれた小説、随筆、戯曲や句集、最期まで連載していた短篇小説などを瀬戸内寂聴が自ら精選。21は、晩年の代表作となった長篇小説「秘花」「月の輪草子」「爛」の全3篇を収録。

2022:1./ 509p
978-4-10-646421-8

¥8,250〔税込〕



読売新聞 2022/03/06



まるありがとう

養老 孟司 著
西日本出版社

まるがいなくなって、ほぼ1年になる。ポンと頭を叩いて、「バカ」というと、少し迷惑そうな顔で薄目を開ける。それができなくなったのが残念である。養老孟司が愛猫「まる」の思い出を語る。「まる」の写真も多数収録。

読売新聞 2022/03/06

2021:12./ 175p
978-4-908443-67-1

¥1,320〔税込〕



憲法政治～「護憲か改憲か」を超えて～(ちくま新書 1627)

清水 真人 著
筑摩書房

憲法と政治には一筋縄ではいかない相互作用のダイナミズムが働いている。国会の信任で内閣が成り立つ「議院内閣制」の統治構造に切り込み、憲法改正の難しさの深層を考察する。「憲法を巡る政治」の10年を描くドキュメント。

読売新聞 2022/03/06

2022:1./ 307p,11p
978-4-480-07447-8

¥1,034〔税込〕



長野まゆみの偏愛耽美作品集(中公文庫 な 77-1)

長野 まゆみ 著
中央公論新社

三島由紀夫、稲垣足穂、永井荷風...。作家・長野まゆみが10代で出会った小説、随筆、詩歌などから耽美作品を精選。美と幻想の世界へ誘う全26作を紹介する。全作に編者がコメントを付したアンソロジー。

読売新聞 2022/03/06

2022:2./ 333p
978-4-12-207182-7

¥1,056〔税込〕



テレワーク本質論～企業・働く人・社会が幸せであり続ける「日本型テレワーク」のあり方～

田澤 由利 著
幻冬舎メディアコンサルティング

社員の生産性が下がる、マネジメントができない、コミュニケーションが取りにくい...。テレワークのさまざまな課題を克服するために、テレワークの役割とあるべき姿を示す。

読売新聞 2022/03/06

2022:1./ 205p
978-4-344-93713-0

¥990〔税込〕



サバイバー 新版(ハヤカワ文庫 NV 1491)

チャック・パラニューク 著
早川書房

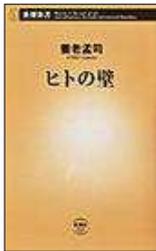
上空で燃料が底をつき、エンジンが一基ずつ停止を始めた航空機のコックピット。ただひとり残ったハイジャック犯である僕は、ブラックボックスに自身の半生を語り...。章立て、ページ番号が逆の構成のカルト小説。

読売新聞 2022/03/06

2022:1./ 443p,8p
978-4-15-041491-7

¥1,320〔税込〕





ヒトの壁(新潮新書 933)

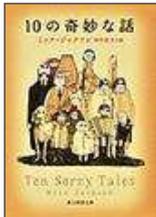
養老 孟司 著
新潮社

新型コロナウイルス禍と五輪、死の淵をのぞいた自身の心筋梗塞、愛猫の死。人生そのものが、不要不急ではないか。それでも生きる価値はどこにあるのか。2年間の体験から改めて問い直す、究極の人間論。

読売新聞 2022/03/06

2021:12./ 205p
978-4-10-610933-1

¥858 [税込]



10の奇妙な話(創元推理文庫 Fシ 10-1)

ミック・ジャクソン 著
東京創元社

蝶の修理屋、隠者になった男、骨集めの少女…。日常と異常の境界を越えてしまい異様な事態を引き起こした人々を描く、奇妙で愛おしい短編集。デイヴィッド・ロバーツの挿画も収録。

読売新聞 2022/03/06

2022:1./ 221p
978-4-488-59403-9

¥924 [税込]



日本語の起源～ヤマトコトバをめぐる語源学～(ちくま新書 1626)

近藤 健二 著
筑摩書房

渡来人がヤマトコトバを創った。古代中国語音とヤマトコトバ(古代日本語)の音の対応を、100話にまとめた実例で検証。日本語の語源を論じることによって、日本語の起源が中国語であることを裏付ける。

読売新聞 2022/03/06

2022:1./ 282p
978-4-480-07452-2

¥968 [税込]



日韓歴史認識問題とは何か～歴史教科書・「慰安婦」・ポピュリズム～(叢書・知を究める 4)

木村 幹 著
ミネルヴァ書房

日本と韓国は、なぜ歴史認識問題で対立し続けているのか。日韓両国の政治過程を丹念に辿り、両国のナショナリズムが高まる中で両国のエリート統治が機能不全に陥り、「期待」と「失望」を繰り返してしまう構造を解明する。

読売新聞 2022/03/06

2014:10./
14p,272p,6p
978-4-623-07175-3

¥3,080 [税込]



本当は違いたし

池田 澄子 著
日本経済新聞出版社

彼の世も小春日和か 此処から彼処の人を思う。俳人・池田澄子が、3・11からコロナウイルス禍までの間に綴った、『日本経済新聞』『俳句α』等掲載の60余篇を編んだエッセイ集。

読売新聞 2022/03/06

2021:12./ 220p
978-4-532-17716-4

¥2,420 [税込]





ミッション・エコノミー～国×企業で「新しい資本主義」をつくる時代がやってきた～

マリアナ・マッツカート 著
ニュースピックス

暮らしの中心に経済があるのではない。経済の中心に暮らしがあるのだ。各国首脳のプレーンとして経済政策に携わる経済学者マリアナ・マッツカートが、国と企業が力を合わせてつくる「新しい資本主義」を提唱する。

読売新聞 2022/03/06

2021:12./ 285p
978-4-910063-19-5

¥2,310〔税込〕



志村ふくみ染めと織り

志村ふくみ/古沢由紀子 著
求龍堂

豊かな色彩と抽象画を思わせる現代的な感覚で、紬織を「芸術の域に高めた」と評価され、人間国宝に認定された志村ふくみの評価。『読売新聞』連載を再構成し、インタビューや取材、解説を加えて書籍化。

読売新聞 2022/03/06

2021:11./ 332p
978-4-7630-2108-3

¥3,300〔税込〕



陸奥宗光～「日本外交の祖」の生涯～(中公新書 2509)

佐々木 雄一 著
中央公論新社

幕末の紀州に生まれた陸奥宗光は、坂本龍馬のもと海援隊で頭角を現し、伊藤博文内閣の外務大臣として条約改正や日清戦争で手腕を発揮した。最新の研究成果をもとに「日本外交の祖」の実像に迫る。

読売新聞 2022/03/06

2018:10./ 5p,303p
978-4-12-102509-8

¥990〔税込〕



韓国愛憎～激変する隣国と私の30年～(中公新書 2682)

木村 幹 著
中央公論新社

民主的な政権交代を繰り返し、女性大統領も登場。K-POP が世界を席卷するなか、1人当たりの GDP は日本を凌駕しつつある韓国。韓国研究の第一人者が、日韓関係の変貌と軌轍の30年史を、自らの体験から描く。

読売新聞 2022/03/06

2022:1./ 4p,256p
978-4-12-102682-8

¥946〔税込〕



都市を上映せよ～ソ連映画が築いたスターリニズムの建築空間～

本田 晃子 著
東京大学出版会

映画によって建設された理想の社会主義都市モスクワ。楽園のごとき都市はいかにして生まれ、そして地獄へと変貌していったのか。映画内の建築表象が、全体主義体制下において空間の神格化をどのように押し進めたかを検証する。

読売新聞 2022/03/06、朝日新聞 2022/03/12

2022:1./ 5p,273p,16p
978-4-13-061143-5

¥3,740〔税込〕





ソヴィエト宮殿～建設計画の誕生から頓挫まで～

鈴木佑也 著

水声社

社会主義国家の理念の象徴として期待されたソヴィエト宮殿建築計画は、なぜ幻に終わったのか。膨大なアーカイブ資料の調査をもとに、プロジェクトの誕生から消滅への過程を丹念に辿る。図版も多数収録。

読売新聞 2022/03/06、朝日新聞 2022/03/12

2021:11./ 437p
978-4-8010-0567-9

¥6,600〔税込〕



ブルーピリオド<1>(アフタヌーン KC)

山口 つばさ 著

講談社

成績優秀かつスクールカースト上位の充実した毎日を送りつつ、どこか空虚な焦燥感を感じて生きる高校生・矢口八虎（やぐち やとら）は、ある日、一枚の絵に心奪われる。その衝撃は八虎を駆り立て、美しくも厳しい美術の世界へ身を投じていく。美術のノウハウうんちく満載、美大を目指して青春を燃やすスポ根受験物語、八虎と仲間たちは「好きなこと」を支えに未来を目指す！

読売新聞 2022/03/13

2017:12./ 223p
978-4-06-510586-3

¥693〔税込〕



キッチン(新潮文庫)

吉本 ばなな 著

新潮社

読売新聞 2022/03/13

2002:6./ 197p
978-4-10-135913-7

¥473〔税込〕



つぐみ(中公文庫)

吉本 ばなな 著

中央公論新社

読売新聞 2022/03/13

2000:4./ 245p
978-4-12-201883-9

¥502〔税込〕



祭

小川直之 著

パイインターナショナル

「青森ねぶた祭」や「祇園祭」といった、「これが日本の祭り」という67の祭りを、最も魅力的な見所ごとに分類して厳選。火祭りの熱気・優美な舞などを、大迫力の写真で紹介する。

読売新聞 2022/03/13

2022:1./ 319p
978-4-7562-5511-2

¥2,970〔税込〕





あなたも保育者になれる～子どもの心に耳をすますための22のヒント～

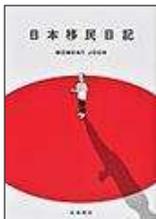
青山 誠 著
小学館

「保育」とは子どもに会い続けること。子どもの見ている風景をともに見ること。横浜にある保育施設の保育者・青くんが、子どもの心に耳をすますための22のヒントを伝える。『新・幼児と保育』連載を加筆修正。

読売新聞 2022/03/13

2017:4./ 160p
978-4-09-840179-6

¥1,430〔税込〕



日本移民日記

MOMENT JOON 著
岩波書店

2010年から日本に住む韓国出身の「移民者」ラッパーが、自身の成長と変化と共に、日本社会の風景を率直に綴る。WEB マガジン『たねをまく』連載に加筆修正し、『図書』掲載の「僕らの孤独の住所は日本」を加え単行本化。

読売新聞 2022/03/13

2021:11./ 7p,190p
978-4-00-061504-4

¥1,870〔税込〕



秘密を語る時間

ク・ジョンイン 著
柏書房

6歳のとき、知らない男からわいせつ行為をされた中学生のウンソ。ひとりで抱えきれなくなったウンソは、助けてくれる人が必要だと考え…。秘密と共に生きる人へ贈る物語をマンガで描く。

読売新聞 2022/03/13

2021:10./ 202p
978-4-7601-5393-0

¥1,540〔税込〕



シェイマス・ヒーニー全詩集 1966～1991

シーマス・ヒーニー、村田辰夫 著
国文社

95年度のノーベル文学賞受賞作家であり、アイルランド出身のイエーツ以来最高の詩人といわれるヒーニー。彼の第1詩集「ある自然児の死」から第8詩集までと、散文詩集「ステーションズ」を収めた全詩集。

読売新聞 2022/03/13

1995:11./ 902p
978-4-7720-0412-1

¥9,900〔税込〕



少女漫画家「家」の履歴書(文春新書 1352)

週刊文春編 著
文藝春秋

あの名作は、こんな「家」から生まれた! 少女漫画の黄金期である1970年代までにデビューした12人の漫画家が、これまで住んできた家の履歴を通して、半生とともに作品歴を語る。『週刊文春』連載を書籍化。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 215p
978-4-16-661352-6

¥902〔税込〕





ルールの世界史

伊藤 毅 著

日本経済新聞出版社

ルールを変えるために、ルールについて知ろう！経済活動を中心に、それぞれのルールがどのような目的をもって作られ、そのためにどのようなテクニックを利用したのかを分析。ルールを破壊し、創造した人たちの歴史に迫る。

読売新聞 2022/03/13

2022:1./ 279p

978-4-532-32430-8

¥1,980〔税込〕



一晩置いたカレーはなぜおいしいのか〜食材と料理のサイエンス〜(新潮文庫 い-143-1)

稲垣 栄洋 著

新潮社

一晩置いたカレーはなぜおいしい？子どもたちはどうしてピーマンが嫌いなの？ワサビがツーンとする理由は？味、食感、香り、栄養素など食材に関する謎を、食材が生きていたときの姿から解き明かす。調理の裏ワザも紹介。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 232p

978-4-10-103741-7

¥605〔税込〕



人間のしがらみ<下>(光文社古典新訳文庫 KAモ 1-4)

モーム 著

光文社

感情を大きくかき乱す出来事の数々に翻弄されるなか、フィリップはある一家との交際のなかで人生の尊さを感じ始め…。友情と恋愛、そして人生のままならなさを描いた自伝的長編小説。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 662p

978-4-334-75458-7

¥1,430〔税込〕



一万年生きた子ども〜統合失調症の母をもって〜

ナガノハル 著

現代書館

子ども時代を子どもとして生きることを失われ、誰よりも大人として生きることは、永遠に子どもであること。母のケア、家にいない父…。精神疾患の母をもつ漫画家が、自身の半生を振り返る。テキストデータ請求券付き。

読売新聞 2022/03/13

2021:11./ 230p

978-4-7684-5909-6

¥2,200〔税込〕



日々のきのこ

高原 英理 著

河出書房新社

私が体表共生粘菌を駆除しないで行くのは、およそ1年に1度だけ、たった30分程度、空を飛べるからだ。私は心ゆくまで空を滑り…。きのこをテーマにした奇想な話、全3編を収録。

読売新聞 2022/03/13

2021:12./ 181p

978-4-309-03015-9

¥2,420〔税込〕





あの頃な

マンボウ やしろ 著

角川春樹事務所

新型コロナウイルスは、人々の生活を一変させた。劇的に変化した世界で生きる人々の日常は、どこに向かっていくのか。ラジオでコロナを報道し、リスナーの声を聞き続けた著者が、抱えてきた想いを昇華させた 25 本の物語。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 261p
978-4-7584-1415-9

¥1,650 [税込]



水木しげるのラバウル従軍後記〜トペトロとの50年〜

水木 しげる 著

中央公論新社

水木しげるが戦地で出会った現地人トペトロとの50年は、奇妙な楽しみに満ちた50年だった。戦地ラバウルの情景や復員後の日々を描いた作品や、ラバウルでの交流を記録した写真、マンガ「トペトロの葬式」等を収録。

読売新聞 2022/03/13

2022:3./ 253p
978-4-12-005514-0

¥2,530 [税込]



データ視覚化の人類史〜グラフの発明から時間と空間の可視化まで〜

マイケル・フレンドリー／Howard・ウェイナー 著

青土社

折れ線グラフや棒グラフは、いつどのように生まれたのか。データの視覚化とグラフィックコミュニケーションの400年にわたる進化の歴史を、様々なストーリーとイラストで詳しく紹介する。

読売新聞 2022/03/13

2021:10./ 391p,9p 図
版 16p

978-4-7917-7419-7

¥3,080 [税込]



「トランプ信者」潜入一年〜私の目の前で「民主主義」が死んだ〜

横田 増生 著

小学館

潜入ジャーナリストが単身渡米。トランプ陣営の選挙スタッフとなり、「議事堂襲撃」では警官の催涙スプレーまで浴びた。「分断」「狂信」「暴動」をすべて内側から見たルポルタージュ。『フォーサイト』他掲載に加筆修正。

読売新聞 2022/03/13

2022:3./ 463p
978-4-09-388852-3

¥2,200 [税込]



世界の対中認識〜各国の世論調査から読み解く〜

園田 茂人／謝 宇 編

東京大学出版会

対立するアメリカ、海峡を挟んで緊張が続く台湾、自由を奪われつつある香港、領土問題で対立するフィリピン、対中依存度を増す日本。世界は中国をどのように認識しているのか？ 各国の最新の世論調査から読み解く。

読売新聞 2022/03/13

2022:1./ 4p,248p
978-4-13-030183-1

¥4,840 [税込]





中世かわらけ物語〜もっとも身近な日用品の考古学〜(歴史文化ライブラリ 540)

中井 淳史 著
吉川弘文館

中世に誰もが使用した器・かわらけ。それぞれに個性があり、中世社会を雄弁に語る。製法、用途、デザインの流行などを読み解き、地域や身分を超え、人々の暮らしに寄り添ってきた姿を描き出す。

読売新聞 2022/03/13

2022:1./ 7p,292p
978-4-642-05940-4

¥2,090〔税込〕



文豪たちの妙な話〜ミステリーアンソロジー〜(河出文庫 や 45-1)

山前 譲 編
河出書房新社

病院で聞いた変な音、突如消えた時計…。夏目漱石、森鷗外ら日本文学史に名を残す10人の文豪が書いた、人間の心の不思議に迫る異色のミステリー10編を収録した文庫オリジナル・アンソロジー。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 393p
978-4-309-41872-8

¥979〔税込〕



人間のしがらみ<上>(光文社古典新訳文庫 KAモ 1-3)

モーム 著
光文社

幼くして両親を亡くした少年フィリップは、外国生活に慣れてハイデルベルク、パリ、ロンドンと、理想と現実の狭間をもがきながら進むが…。友情と恋愛、そして人生のままならなさを描いた自伝的長編小説。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 649p
978-4-334-75457-0

¥1,430〔税込〕



獣たちの海〜THE OCEAN CHRONICLES STORIES〜(ハヤカワ文庫 JA [The Ocean Chronicles] 1514)

上田 早夕里 著
早川書房

陸地の大半が水没した25世紀。海上民と陸上政府は、海上都市への移住権をめぐり対立していた。一触即発の危機迫るなか海上都市の保安員と海上民の長の交歓を描く中篇「カレイドスコープ・キッス」など、中短篇全4作を収録。

読売新聞 2022/03/13

2022:2./ 265p
978-4-15-031514-6

¥880〔税込〕



謎の海洋王国ディルムン〜メソポタミア文明を支えた交易国家の勃興と崩壊〜(中公選書 124)

安倍 雅史 著
中央公論新社

メソポタミア文明の生命線を握っていた謎の海洋王国ディルムン。その歴史と、そこに暮らした人々の生活を、最新の発掘調査の成果を踏まえて、さまざまな角度から明らかにする。

読売新聞 2022/03/13、日本経済新聞 2022/03/19

2022:1./ 219p
978-4-12-110124-2

¥1,870〔税込〕





対岸の彼女(文春文庫)

角田 光代 著
文芸春秋

女社長の葵と専業主婦の小夜子。二人の出会いと友情は、些細なことから亀裂を生じていくが……。孤独から希望へ、感動の傑作長篇

読売新聞 2022/03/20

2007:10./ 334p
978-4-16-767205-8

¥704〔税込〕



母を燃やす

アヴェニ・ドーシ 著
早川書房

アンタラの母は若い頃から自由奔放だった。アメリカ育ちの夫と暮らすアンタラは、母の認知症が進んでいるかもしれないと医師から伝えられ…。毒母に苦しむ裕福な女性の視点を通して描かれる、普遍的な母娘の物語。

読売新聞 2022/03/20

2022:1./ 385p
978-4-15-210076-4

¥3,080〔税込〕



防衛事務次官冷や汗日記～失敗だらけの役人人生～(朝日新書 850)

黒江哲郎 著
朝日新聞出版

お詫びしすぎてギックリ腰、ストレスで昏倒、大臣に醤油浴びせてクビ覚悟…。2015～17年に防衛事務次官を務め南スーダン PKO 日報問題で辞任した著者が「失敗だらけの役人人生」を振り返る。失敗から得た教訓が満載。

読売新聞 2022/03/20

2022:1./ 269p
978-4-02-295154-0

¥935〔税込〕



クィア神学の挑戦～クィア、フェミニズム、キリスト教～

工藤 万里江 著
新教出版社

キリスト教と性の問題を問うクィア神学。3人の女性神学者の思想考察を通して、フェミニズム(神学)とクィア(神学)に共通する課題と断絶の双方を明らかにすると共に、クィア神学の多様な内実、その課題と可能性を展望する。

読売新聞 2022/03/20

2022:1./ 298p,11p
978-4-400-32493-5

¥4,730〔税込〕



もっと知りたいモネ～生涯と作品～(アート・ビギナーズ・コレクション)

安井 裕雄、高橋 明也 著
東京美術

それまでの伝統絵画の技法とは隔絶した、革命的ともいえる分析的な筆で、繊細で柔らかな光を捉えたクロード・モネ。年代順にその生涯や変遷をたどりながら、作品の魅力と本質に迫る。

読売新聞 2022/03/20

2010:1./ 79p
978-4-8087-0858-0

¥1,980〔税込〕





20歳の自分に教えたいお金のきほん(SB新書 570)

池上彰+「池上彰のニュースそうだったのか!!」スタッフ 著
S Bクリエイティブ

株式会社とはどういうものか。円高・円安とは何か。消費税は何のためにあるのか...。経済、投資、税金、お金のきほんをやさしく解説する。テレビ番組「池上彰のニュースそうだったのか!!」を書籍化。

読売新聞 2022/03/20

2022:1./ 180p
978-4-8156-1176-7

¥990〔税込〕



図説江戸のエンタメ 小説本の世界

深光 富士男 著
河出書房新社

江戸時代中期から刊行された大衆小説の大半は、「絵入り小説」だった。葛飾北斎ら一流浮世絵師が挿絵を担当し、物語を視覚化する独自の魅力で庶民を夢中にさせた娯楽小説本の世界を、ビジュアルたっぷりに紹介する。

読売新聞 2022/03/20

2022:1./ 127p
978-4-309-22841-9

¥3,080〔税込〕



その午後、巨匠たちは、

藤原 無雨 著
河出書房新社

歳を取らない女・サイトウが山の中に建てた神社が祀るのは、北斎、レンブラント、モネ、ダリなど6人の巨匠画家。やがて町は、神様として現代に蘇った画家たちの描く絵画世界に染まっていき...。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/03/20

2022:2./ 135p
978-4-309-03028-9

¥1,760〔税込〕



狩野友信～最後の奥絵師、幕末・明治を生きる～

山田久美子 著
水声社

若くして幕府の奥絵師に任ぜられ、皇帝ナポレオン3世に贈った「紅葉に青鳩図」を制作した狩野友信。東京美術学校で教鞭をとり、狩野派再興を願った彼の軌跡を、友信の曾孫がたどる。図版も多数収録。

読売新聞 2022/03/20

2021:12./ 293p
978-4-8010-0611-9

¥5,500〔税込〕



人は皮膚から癒される(草思社文庫 や5-2)

山口 創 著
草思社

触れられるだけで病気や対人ストレスが劇的に改善! ユマニチュード、セラピューティック・ケアなど、介護や医療の現場でも注目されるスキンシップによる癒しの力や、幸福に生きるためのメソッドを紹介する。

読売新聞 2022/03/20

2022:2./ 200p
978-4-7942-2565-8

¥770〔税込〕





黒い手帳(光文社文庫 探偵くらぶ ひ 23-1)

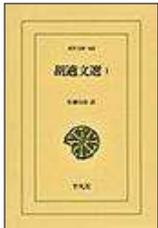
久生十蘭 著
光文社

男はイギリスに留学し、巴里に移ったところで陸軍士官と決闘する羽目に。撃たれた顔は異様な有様となる。帰国後、湯治に訪れた箱根で出会った少女に一目惚れするが…。「湖畔」など全 14 編を収めた久生十蘭のミステリ作品集。

読売新聞 2022/03/20

2022:2./ 520p
978-4-334-79286-2

¥1,100〔税込〕



胡適文選<1>(東洋文庫 905)

胡 適 著
平凡社

中国の新文化運動の指導者の一人、胡適が、自身の思想と学問方法を最もよく理解できる文章を自選。1 は、思想の哲学的基礎をはじめ、人生観や中国と西洋の文化を論じたものなどを収録。

読売新聞 2022/03/20

2021:9./ 350p
978-4-582-80905-3

¥3,740〔税込〕



胡適文選<2>(東洋文庫 906)

胡 適 著
平凡社

中国の新文化運動の指導者の一人、胡適が、自身の思想と学問方法を最もよく理解できる文章を自選。2 は、主に国故整理に関する文章と解説、年表を収録する。

読売新聞 2022/03/20

2021:12./ 351p
978-4-582-80906-0

¥3,740〔税込〕



世界を旅する黒猫ノ口～飛行機に乗って 37 カ国へ～(河出文庫 ひ 14-1)

平松 謙三 著
河出書房新社

猫は「家に」つく? いえいえ、「旅に」です! ヨーロッパを中心にアフリカから中近東まで、37 カ国を巡ったクロネコノ口の旅を、美しくかわいい写真とともに紹介。ペットと海外旅行をするためのハウツーも満載。

読売新聞 2022/03/20

2022:2./ 177p
978-4-309-41871-1

¥869〔税込〕



新編閑な老人(中公文庫 お 33-3)

荻原 魚雷 編
尾崎 一雄 著
中央公論新社

放蕩と極貧生活を送った元破滅型文学青年。歳を重ねてからは、草木を愛で散歩を趣味とし、寒くなれば冬眠する。人はいつ死ぬかわからない、だからこそ生きているだけで面白い。日常を独特の味わいで綴った短篇と随筆を収録。

読売新聞 2022/03/20

2022:2./ 293p
978-4-12-207177-3

¥990〔税込〕





タラント

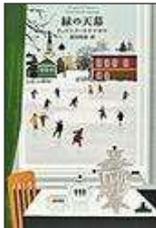
角田 光代 著
中央公論新社

周囲の人々が“意義ある仕事”に邁進する中、心に深傷を負い、無気力な中年になったみのり。不登校の甥の手で、心にふたをした義足の祖父の過去が緋かれるとき、みのりの心は…。『読売新聞』連載に加筆修正し単行本化。

読売新聞 2022/03/20、産経新聞 2022/03/27、

2022:2./ 443p
978-4-12-005501-0

¥1,980〔税込〕



緑の天幕(CREST BOOKS)

リュドミラ・ウリツカヤ 著
新潮社

1953年のスターリンの死から1991年のソ連崩壊へ。人びとはそれぞれに夢を抱き、愛を求めては失いながら、抑圧的な社会の中で人間らしく生きようとし…。ロシアを代表する女性作家による大河長篇。

読売新聞 2022/03/20、朝日新聞 2022/03/26

2021:12./ 718p
978-4-10-590177-6

¥4,180〔税込〕



東京タワー〜オカンとボクと、時々、オトン〜(新潮文庫)

リリー・フランキー 著
新潮社

オカン。ボクの一番大切な人。ボクのために自分の人生を生きた人。四歳のときにオトンと別居、筑豊の小さな炭鉱町で、ボクとオカンは一緒に暮らした。やがてボクは上京し、東京でボロボロの日々。還暦を過ぎたオカンは、ひとりガンと闘っていた。「東京でまた一緒に住もうか?」。ボクが一番恐れていたことが、ぐるぐる近づいて来る。大切な人との記憶、喪失の悲しみを綴った傑作。

読売新聞 2022/03/27

2010:6./ 522p
978-4-10-127571-0

¥880〔税込〕



神様のカルテ(小学館文庫 な 13-1)

夏川 草介 著
小学館

読売新聞 2022/03/27

2011:6./ 252p
978-4-09-408618-8

¥682〔税込〕



東京バンドワゴン(集英社文庫)

小路 幸也 著
集英社

読売新聞 2022/03/27

2008:4./ 330p
978-4-08-746287-6

¥704〔税込〕



雁 改版(新潮文庫)

森 鴎外 著
新潮社

読売新聞 2022/03/27

2008:2./ 184p
978-4-10-102001-3

¥506〔税込〕





黒い雨 改版(新潮文庫)

井伏 鱒二 著

新潮社

読売新聞 2022/03/27

2003:5./ 403p
978-4-10-103406-5

¥781〔税込〕



しろばんば 改版(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

読売新聞 2022/03/27

2004:5./ 583p
978-4-10-106312-6

¥935〔税込〕



官僚たちの夏 改版(新潮文庫)

城山 三郎 著

新潮社

読売新聞 2022/03/27

2002:3./ 352p
978-4-10-113311-9

¥693〔税込〕



おらおらでひとりいぐも(河出文庫 わ7-1)

若竹 千佐子 著

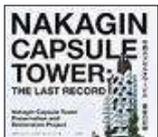
河出書房新社

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」 捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。

読売新聞 2022/03/27

2020:6./ 191p
978-4-309-41754-7

¥693〔税込〕



中銀カプセルタワービル最後の記録

中銀カプセルタワービル保存・再生プロジェクト 編

草思社

1972年、未来都市のプロトタイプとして黒川紀章により設計された「中銀カプセルタワービル」。これまで関係者以外見ることの出来なかった多数の内部写真、実測図面、論考、対談を収録。解体が決まった名建築の最後の記録。

読売新聞 2022/03/27

2022:3./ 203p
978-4-7942-2559-7

¥3,850〔税込〕



ルポ コロナ禍の移民たち

室橋 裕和 著

明石書店

コロナ・ショックは移民社会をどう変えたか。気鋭のルポライターが日本で生きる外国人を取材。共通の災害の中での隣人たちの偽らざる本音と生き抜き方を伝える。

読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 293p
978-4-7503-5317-3

¥1,760〔税込〕





県庁おもてなし課(角川文庫 あ 48-12)

有川 浩 著
角川書店

とある県庁に突如生まれた新部署“おもてなし課”。観光立県を目指すべく、若手職員
の掛水は、地元出身の人気作家に観光特使就任を打診するのだが…。巻末には高知県
庁に実在する「おもてなし課」職員と著者の鼎談を収録。

読売新聞 2022/03/27

2013:4./ 503p
978-4-04-100784-6

¥775〔税込〕



切腹考〜鷗外先生とわたし〜(文春文庫 い 99-2)

伊藤 比呂美 著
文藝春秋

ユダヤ系イギリス人の夫を看取るまでの20年を「阿部一族」や「ぢいさんばあさ
ん」に重ねる時、言葉が動き出す。仏教の世界に身を浸し、生を曝してきた詩人が鷗
外を道連れに編む、無常の世を生きるための文学。

読売新聞 2022/03/27

2022:2./ 282p
978-4-16-791834-7

¥814〔税込〕



新宿鮫〜長編刑事小説〜(光文社文庫 お 21-16)

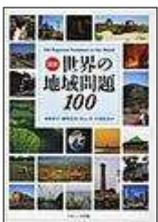
大沢 在昌 著
光文社

歌舞伎町を中心に、警官が連続して射殺された。犯人逮捕に躍起になる署員たちをよ
そに、「新宿鮫」と怖れられる新宿署刑事・鮫島は、銃密造の天才・木津を執拗に追
う。突き止めた工房には、巧妙な罠が鮫島を待ち受けていて…。

読売新聞 2022/03/27

2014:2./ 412p
978-4-334-76698-6

¥792〔税込〕



図説世界の地域問題 100

漆原 和子/藤塚 吉浩/松山 洋/大西 宏治 編
ナカニシヤ出版

国内外で浮上する、自然現象と人間活動が絡み合った100の問題を、ビジュアルな主
題図をもとに分かりやすく解説。広い範囲からテーマを収集し、地域の抱える直近の
問題を扱いつつ、その対策も掲載する。

読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 4p,219p
978-4-7795-1613-9

¥2,970〔税込〕



二十四の瞳(岩波文庫 31-212-1)

壺井 栄 著
岩波書店

子供たちを育み守ろうとする先生と、時代の引き起こすきびしさと貧しさに翻弄され
ながら懸命に生きる子供たち…。瀬戸内の一寒村に赴任した若い女性教師と12人の
生徒のふれあいを通して、戦争への怒りと悲しみを訴える名作。

読売新聞 2022/03/27

2018:5./ 282p
978-4-00-312121-4

¥770〔税込〕





或阿呆の一生～侏儒の言葉～ 改版(角川文庫 あ 2-11)

芥川 龍之介 著
KADOKAWA

視界に半透明の歯車が回っている「僕」の美しくも奇怪な心象風景を綴った小説「歯車」、自らの一生を 51 項目でモザイク的に表した「或阿呆の一生」など、芥川龍之介最晩年の小説や評論を厳選収録。

読売新聞 2022/03/27

2018:11./ 388p
978-4-04-107587-6

¥748〔税込〕



101のデータで読む日本の未来(PHP 新書 1295)

宮本 弘暁 著
PHP 研究所

人口動態の変化、地球温暖化対策によるグリーン化、テクノロジーの進歩。この 3 つのメガトレンドの影響を、各種データとファクトから徹底的に検証。世界経済の変化の本質を明らかにし、日本経済の現在、そして未来に迫る。

読売新聞 2022/03/27

2022:1./ 306p
978-4-569-85112-9

¥1,089〔税込〕



水俣曼荼羅～製作ノート～

原 一男+疾走プロダクション 著
皓星社

水俣病の患者や、解決のために戦っている人たちの感情のディテールを描くことに努めた。撮影に 15 年、編集に 5 年かかった映画「水俣曼荼羅」全 3 部のシナリオを採録。監督インタビュー、佐藤忠男「水俣曼荼羅論」も収録。

読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 255p
978-4-7744-0755-5

¥1,980〔税込〕



「NO」から始めない生き方～先端医療で働く外科医の発想～(集英社文庫 か 59-3)

加藤 友朗 著
集英社

世界初の多臓器同時移植を成功させ、多くの重症患者の命を救ってきた移植外科医・加藤友朗の、常識や先入観にとらわれない発想法を、実際のエピソードを交えて紹介。新型コロナ感染記、半生を振り返るインタビューも収録。

読売新聞 2022/03/27

2022:1./ 254p
978-4-08-744346-2

¥594〔税込〕



代官山コールドケース(文春文庫 さ 43-7)

佐々木 譲 著
文藝春秋

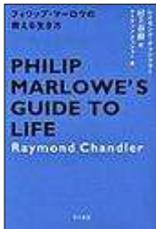
川崎の女性殺人事件の現場で、17 年前の代官山・カフェ店員殺人事件の遺留 DNA が採取される。事件の真犯人を確保するよう、警視庁・特命捜査対策室のエース・水戸部に密命が下り…。特命捜査対策室シリーズ第 2 弾。

読売新聞 2022/03/27

2015:12./ 509p
978-4-16-790505-7

¥803〔税込〕





フィリップ・マーロウの教える生き方(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 7-18)

レイモンド・チャンドラー 著

早川書房

村上春樹の訳で贈る、探偵フィリップ・マーロウの名言集。愛、女、男、死、酒、チェス、煙草、ハリウッド、コーヒーなどについての、マーロウの至言を収録する。訳者が選んだ名言も掲載。

読売新聞 2022/03/27

2022:2./ 247p
978-4-15-070468-1

¥946〔税込〕



横道世之介(文春文庫 よ 19-5)

吉田 修一 著

文藝春秋

大学進学のため長崎から上京した横道世之介 18 歳。愛すべき押しの弱さと隠された芯の強さで、様々な出会いと笑いを引き寄せる。誰の人生にも温かな光を灯す青春小説。2013 年 2 月公開映画の原作。

読売新聞 2022/03/27

2012:11./ 467p
978-4-16-766505-0

¥847〔税込〕



ゾウが教えてくれたこと～ゾウオロジーのすすめ～(DOJIN 選書 092)

入江 尚子 著

化学同人

地上最大の哺乳類、ゾウ。その進化の過程や体のつくり、野生での暮らしぶり、知能など、知っているようで知らないゾウの魅力を、ゾウ愛にあふれる著者があたたかな筆致で語り尽くす。

読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 185p
978-4-7598-1690-7

¥1,650〔税込〕



塩と帝国～近代日本の市場・専売・植民地～

前田 廉孝 著

名古屋大学出版会

帝国日本の経済と生命を支えた塩。その生産・流通・消費の動態をトータルに解明し、植民地塩の内地への浸透プロセスを専売や瀬戸内塩業も視野にとらえるとともに、戦後へとつながる食料、資源の対外依存構造のルーツを示す。

読売新聞 2022/03/27

2022:2./ 7p,474p
978-4-8158-1055-9

¥8,800〔税込〕



一万円選書～北国の小さな本屋が起こした奇跡の物語～(ポプラ新書 217)

岩田 徹 著

ポプラ社

特製カルテをもとに、その人にあった一万円分の本を選書する「一万円選書」。多くの感動を生んでいるこのサービスを行う北海道砂川市のいわた書店の哲学を伝える。一万円選書を疑似体験できる一冊。

読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 182p
978-4-591-17208-7

¥990〔税込〕





ホテルロイヤル(集英社文庫 さ 59-1)

桜木 紫乃 著
集英社

北国の湿原を背にするラブホテル。生活に諦念や倦怠を感じる男と女は“非日常”を求めてその扉を開く。ささやかな昂揚の後、彼らは安らぎと寂しさを手に、部屋を出て行く…。人生の一瞬の煌めきを鮮やかに描く全7編。

読売新聞 2022/03/27

2015:6./ 217p
978-4-08-745325-6

¥550〔税込〕



民主主義が科学を必要とする理由(叢書・ユニベルシタス 1140)

ハリー・コリンズ/ロバート・エヴァンズ 著
法政大学出版局

様々な批判を受ける科学。それでも民主主義社会は科学を必要とする。その理由を、ワクチン接種、遺伝子組換え作物、気候変動などの事例から科学論・専門知識の第一人者が丁寧に説明する。

読売新聞 2022/03/27

2022:1./ 6p,251p,21p
978-4-588-01140-5

¥3,080〔税込〕



親孝行の日本史～道徳と政治の1400年～(中公新書 2671)

勝又 基 著
中央公論新社

律令で孝行者の表彰が定められ、714年に最古の例が見られる「親孝行」。古代から現代までの日本における親孝行について、「表彰」に注目して豊富な資料を辿り、日本人の家族観や道徳観に迫る。

読売新聞 2022/03/27

2021:11./ 7p,232p
978-4-12-102671-2

¥946〔税込〕



糖質中毒～痩せられない本当の理由～(文春新書 1349)

牧田 善二 著
文藝春秋

痩せられないのは、脳が糖質中毒に侵されているから! 糖質とは何か、なぜ人は糖質摂取をやめられないのかを医学的見地から解説。糖質中毒の治し方も知識編と実践編に分けて具体的にわかりやすく説明する。

読売新聞 2022/03/27

2022:1./ 191p
978-4-16-661349-6

¥858〔税込〕



ルポ座間9人殺害事件～被害者はなぜ引き寄せられたのか～(光文社新書 1178)

渋井 哲也 著
光文社

「座間9人殺害事件」はなぜ起きたのか。同じような事件を二度と起こさせないために、長年、若者の生きづらさについて取材してきたジャーナリストが、被害者の心情にも迫りながら事件を再検証する。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:1./ 217p
978-4-334-04586-9

¥902〔税込〕





みんな水の中～「発達障害」自助グループの文学研究者はどんな世界に棲んでいるか～(シリーズケアをひらく)

横道 誠 著
医学書院

ASD(自閉スペクトラム症)と ADHD(注意欠如・多動症)を診断された大学教員が、「詩」「論文的」「小説風」の三種類の様式で、赤裸々に自身の体験世界を伝える。テキストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:4./ 265p
978-4-260-04699-2

¥2,200〔税込〕



ブラックボックス

砂川 文次 著
講談社

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:1./ 161p
978-4-06-527365-4

¥1,705〔税込〕



絡まり合う生命～人間を超えた人類学～

奥野 克巳 著
亜紀書房

ボルネオの闇夜の森で微睡む人類学者は、自分がアリの世界の一員となったと感じて...。「この世界は人間だけのものではない」という深い実感から出発し、動物、死者、そして生命そのものへと向かう全く新しい人類学の探求。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:12./ 370p
978-4-7505-1724-7

¥2,200〔税込〕



人生はゲームなのだろうか?～<答えのなさそうな問題>に答える哲学～(ちくまプリマー新書 395)

平尾 昌宏 著
筑摩書房

ルールも目的もはっきりしないこの「人生」を攻略するために、思考の「根拠」や「理由」をひとつひとつ自分で掘みとる練習を始めよう。「人生はゲームか」問題を考えるためのスキルとしての哲学を紹介する。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:2./ 238p
978-4-480-68420-2

¥946〔税込〕



絵がふつうに上手くなる本～はじめの一步×上手い絵の技術×安定して稼ぐ秘訣～

よー清水 著
S Bクリエイティブ

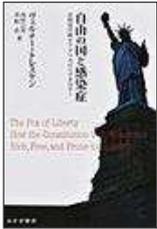
絵を描くには何から始めたらよいですか? どうしたら上手い絵が描けますか? 絵で稼ぐには何が必要ですか? 絵が上手い人が無意識でやっていて、みんなが一番知りたい「ふつう」の部分徹底的に解説します。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:5./ 374p
978-4-8156-0179-9

¥1,760〔税込〕





自由の国と感染症～法制度が映すアメリカのイデオロギー～

ヴェルナー・トレスケン 著
みすず書房

国家構造を規定するイデオロギーや市民の選好が互いに影響を及ぼしあった結果である公衆衛生。天然痘・腸チフス・黄熱病という3つの感染症の事例について、アメリカの法制度との関係を中心に精緻に考察する。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:12./ 254p,55p
978-4-622-09053-3

¥4,620〔税込〕



読書大全～世界のビジネスリーダーが読んでいる経済・哲学・歴史・科学 200冊～

堀内 勉 著
日経BP社

重大な選択を迫られたとき、危機的な状況に陥ったとき…。真の読書体験が、正解のない問いに答えるための「一筋の光明」となる。人類の歴史と叡智を力に変える200冊を紹介した最強のブックガイド。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:4./ 486p
978-4-296-00016-6

¥3,080〔税込〕



戦争の未来～人類はいつも「次の戦争」を予測する～

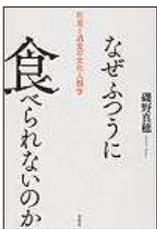
ローレンス・フリードマン 著
中央公論新社

人々は「次の戦争」についてどのように考えてきたのか。近代以降、予想された戦争と実相を政治・社会・科学的視点から比較分析。未来予測が時代を追うごとに困難になっていることを検証し、戦争の不確実性を解き明かす。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:12./ 531p
978-4-12-005481-5

¥4,620〔税込〕



なぜふつうに食べられないのか～拒食と過食の文化人類学～

磯野 真穂 著
春秋社

人生の過程においてふつうに食べられなくなった6人の女性にインタビューし、「拒食や過食がやめられない」という一見大多数の人とはかけ離れた女性の人生の中に、人が食べて生きることの根源的な意味を見出す。

日本経済新聞 2022/03/05

2015:1./ 4p,284p,15p
978-4-393-33336-5

¥2,750〔税込〕



政府は巨大化する～小さな政府の終焉～

マーク・ロビンソン 著
日本経済新聞出版社

先進国経済に通じた財政改革の指南役が描く、この先30年にわたる国家財政の未来。数量データ、バランスのとれた明晰な分析、緻密な論理構成をもとに、先進国財政が直面する支出拡大圧力を読み解く。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:1./ 408p,29p
978-4-532-35912-6

¥3,850〔税込〕





唯が行く!〜当事者研究とオープンダイアログ奮闘記〜

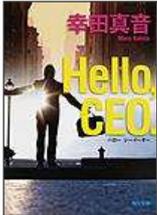
横道 誠 著
金剛出版

双極性障害(かもしれない)大学生・唯は自助グループを切り盛りするなかで仲間と出会い、当事者研究とオープンダイアログに目覚め…。ユニークな世界観を味わいながら当事者研究とオープンダイアログを楽しく学べる。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:2./ 295p,6p
978-4-7724-1876-8

¥2,640〔税込〕



Hello,CEO(角川文庫 こ24-2)

幸田 真音 著
角川書店

大規模なリストラ計画のため信頼する上司たちが解雇されることを知った27歳の藤崎翔は、自身も退職を決め、彼らと一緒にベンチャー企業を立ち上げた。最年少ながら社長に選ばれた翔は、新しいビジネスモデルを模索する…。

日本経済新聞 2022/03/05

2012:4./ 427p
978-4-04-100280-3

¥817〔税込〕



キャピタル 驚異の資産運用会社(日経ビジネス人文庫 え1-2)

チャールズ・エリス 著
日本経済新聞出版社

長期投資で快進撃を続ける全米屈指の投信会社キャピタル・グループだが、その実態はあまり知られていない。卓抜な投資戦略、複数ファンドマネジャー制、長期評価を軸とする人事・報酬体系など、成功を支える経営の秘密に迫る。

日本経済新聞 2022/03/05

2015:8./ 350p
978-4-532-19773-5

¥1,320〔税込〕



矢代幸雄〜美術家は時空を超えて〜(ミネルヴァ日本評伝選)

稲賀 繁美 著
ミネルヴァ書房

独自の方法論で名を馳せた日本の美術史研究の先駆者、矢代幸雄は、幅広い人脈を活かして日本美術を世界に紹介した文化外交の達人でもあった。明治から昭和にかけての時代の思潮にも目配せしながら、その知られざる生涯に迫る。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:1./
15p,340p,24p
978-4-623-09354-0

¥4,950〔税込〕



秘闘〜私の「コロナ戦争」全記録〜

岡田 晴恵 著
新潮社

尾身分科会会長、田村前厚労大臣ら、コロナ対策を指揮した中心人物との生々しいやり取りであぶり出されるコロナ禍の真実。この国の矛盾と歪みに直面した著者が、「秘められた闘い」の日々を記す。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:12./ 382p
978-4-10-354361-9

¥1,760〔税込〕





次なるパンデミックを防ぐ～反科学の時代におけるワクチン外交～

ピーター・J・ホットテズ 著

白水社

紛争、気候変動、反科学運動…。パンデミックの背景にある国際政治の歪みをワクチン外交の提唱者が浮き彫りにするとともに、世界の最貧困層向けの新しいワクチン開発に取り組む様子も紹介する。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:2./ 218p,31p
978-4-560-09882-0

¥2,420〔税込〕



アマゾンの最強の働き方

コリン・ブライアー／ビル・カー 著

ダイヤモンド社

米国内の書籍販売会社からグローバルな巨大企業へと飛躍の成長を遂げた「アマゾン」。創業者ベゾスを支えてきた参謀が、アマゾンの経営・仕組み・働き方を、長年にわたって見聞きした出来事やエピソードとともに伝える。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:1./ 500p
978-4-478-10917-5

¥2,420〔税込〕



ソニー再生～変革を成し遂げた「異端のリーダーシップ」～

平井 一夫 著

日本経済新聞出版社

未曾有の危機に直面した社員たちの心に火をつけ、蘇らせたのは出世競争とは無縁の異端児が持つ、しなやかな信念だった。ソニーグループで3度のターンアラウンドを成し遂げたリーダーが、その経営哲学を語る。

日本経済新聞 2022/03/05

2021:7./ 278p
978-4-532-32412-4

¥1,760〔税込〕



ねこはすごい(朝日文庫 や 50-1)

山根明弘 著

朝日新聞出版

嗅覚は人間の10万倍、走る速度は時速50キロ!7年間にわたるねこの生態研究を実施した著者が、卓越した身体能力や感覚器の鋭さから、人間の心の病を治癒する力まで、ねこの“すごさ”を解き明かす。

日本経済新聞 2022/03/05

2022:2./ 215p
978-4-02-262060-6

¥748〔税込〕



時間は存在しない

カルロ・ロヴェッリ 著

NHK出版

“ホーキングの再来”と評される天才物理学者が、「物理学的に時間は存在しない」という考察を展開するとともに、それにもかかわらず私たちはなぜ時間が存在するのを感じるのかを、哲学や脳科学などの知見を援用して論じる。

日本経済新聞 2022/03/05、朝日新聞 2022/03/19

2019:8./ 237p
978-4-14-081790-2

¥2,200〔税込〕





他者と生きる〜リスク・病い・死をめぐる人類学〜(集英社新書 1098)

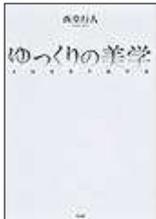
磯野 真穂 著
集英社

「生の手ざわり」から人々を遠ざける統計学的人間観と、個人主義的人間観。病を抱える人々と医療者への聞き取り、臨床の参与観察、人類学の知見をもとに、関係論的人間観を加え、現代社会を生きる人間のあり方を根源から問う。

日本経済新聞 2022/03/05、毎日新聞 2022/03/12、朝日新聞 2022/03/19

2022:1./ 275p
978-4-08-721198-6

¥990〔税込〕



ゆっくりの美学〜太田省吾の劇宇宙〜

西堂行人 著
作品社

“沈黙劇”と呼ばれる独自の舞台を生み出し、今も、世界で高く評価される太田省吾。その劇宇宙の全貌と可能性を、近年の動向を踏まえつつ、より幅広い視点から検証する。生前の本人との対談も収録。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 352p
978-4-86182-871-3

¥3,080〔税込〕



人新世とは何か〜<地球と人類の時代>の思想史〜

クリストフ・ボヌイユ、ジャン=バティスト・フレソズ、野坂 しおり 著
青土社

<人新世>を思考することは、地球システム科学のデータやモデルが、地質学的な時間スケールで異常を示していることを受け止めることである。人類の新たな生存の条件<人新世>の全貌を明らかにする。

日本経済新聞 2022/03/12

2018:3./ 416p,5p
978-4-7917-7046-5

¥3,520〔税込〕



土偶を読む〜130年間解かれなかった縄文神話の謎〜

竹倉 史人 著
晶文社

130年以上も研究されながら、いまだ詳細不明の縄文土偶。土偶の形態を具体的に分析するイコノロジー研究の手法と、環境文化史・民族植物学を含む最新の考古研究の実証データを用いて、土偶の「真実」を明らかにする。

日本経済新聞 2022/03/12

2021:4./ 347p 図版 9
枚

978-4-7949-7261-3

¥1,870〔税込〕



「不全国家」ミャンマーの真実〜民主化10年からクーデター後までの全記録〜

深沢 淳一 著
文眞堂

2011年の民政移管からクーデターまでの10年間を、テイン・セイン政権・アウン・サン・スー・チー政権に分け、その間の政治、経済、社会、少数民族問題、外交などを詳細に検証。今後のミャンマーの展開の可能性も示す。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 13p,444p
978-4-8309-5161-9

¥2,970〔税込〕





SDGs～危機の時代の羅針盤～(岩波新書 新赤版 1854)

南 博/稲場 雅紀 著
岩波書店

2030年の期限まで10年を切り、貧困や格差、環境破壊等の慢性的危機に加え、パンデミック危機の今その真価が問われているSDGs。日本政府の元交渉官とNGO代表とがSDGsの概要、交渉秘話、実践と展望を紹介する。

日本経済新聞 2022/03/12

2020:11./
11p,220p,18p
978-4-00-431854-5
¥902〔税込〕



SDGsがひらくビジネス新時代(ちくま新書 1599)

竹下 隆一郎 著
筑摩書房

SDGsの時代が始まっている。気候危機、働きかた、声を上げる消費者...すべてがビジネスとつながっていく。現代社会が、そしてビジネスがどこへ向かおうとしているのか、鋭く考察。「これからの見取図」を鮮やかに示す。

日本経済新聞 2022/03/12

2021:9./ 266p
978-4-480-07343-3
¥946〔税込〕



イスラエル vs. ユダヤ人～中東版「アパルトヘイト」とハイテク軍事産業～

シルヴァン・シベル 著
明石書店

イスラエルがパレスチナ自治区を占領してから半世紀。人種差別、軍事産業の台頭、権威主義、宗教分裂、右傾化など、イスラエル社会の日常から法制度までを横断し、今後の中東の国際関係を見通す。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 397p
978-4-7503-5299-2
¥2,750〔税込〕



インド太平洋戦略の地政学～中国はなぜ覇権をとれないのか～

ローリー・メドカーフ 著
芙蓉書房出版

インド太平洋地域のダイナミズムが、近未来の世界情勢にどう影響するのかを、地政学的観点から解説。さらにこの地域を独占しようとする中国の挑戦に断固とした態度で臨むことの重要性を、国際政治、外交、経済などから説く。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 446p
978-4-8295-0827-5
¥3,080〔税込〕



夏の速度～小説～

四方田犬彦 著
作品社

韓国が歴史の大きな転換点に立った1979年。ソウルの夏。大学に日本語の客員教授として招かれた僕が会った忌わしい出来事-。朴正熙軍事政権下の日々を体験した著者が40年前に記した小説。

日本経済新聞 2022/03/12

2020:6./ 159p
978-4-86182-809-6
¥1,980〔税込〕





菌類が世界を救う～キノコ・カビ・酵母たちの驚異の能力～

マーリン・シェルドレイク 著

河出書房新社

建築やコンピュータをつくる、猛毒や放射線を食べる、地球全体の気候を変える、宇宙空間でも生き延びる…。「生命」の常識を覆す、菌類の脅威の能力を紹介する。カラー図版も収録。

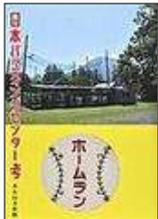
日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 284p,85p 図

版 16p

978-4-309-25439-5

¥3,190〔税込〕



日本バッティングセンター考

カルロス矢吹 著

双葉社

国民的スポーツ・野球を、ロードサイドから、繁華街のどん詰まりから支えてきた謎多き娯楽施設、バッティングセンター。北海道・網走からタイ・バンコクまでのバッティングセンターを訪ね歩き、そのオーナーとともに紹介する。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:2./ 175p

978-4-575-31701-5

¥2,035〔税込〕



PERIL 危機

ボブ・ウッドワード／ロバート・コスタ 著

日本経済新聞出版社

史上最も騒然とした政権移行は、核兵器を使った米中戦争という国家存亡の危機に瀕していた。トランプのホワイトハウス、大統領選、政権移行の大混乱、国防総省、議会、バイデン政権の実態を、多数の資料等から明らかにする。

日本経済新聞 2022/03/12

2021:12./ 611p 図版

16p

978-4-532-17715-7

¥2,750〔税込〕



VIP～グローバル・パーティーサーキットの社会学～

アシュリー・ミアーズ 著

みすず書房

世界のVIPは膨大な可処分所得をどう使っているのか。元モデルの社会学者が超富裕層のパーティー界に潜入し、「モデルとボトル」の世界を分析。いかにして女性の美は男性のステータスに転換されているのかに迫る。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./

14p,333p,48p

978-4-622-09028-1

¥4,400〔税込〕



先祖供養と墓(角川ソフィア文庫 J106-10)

五来 重 著

KADOKAWA

丹念な現地調査に基づいた民俗学の知見により、古代から現代までの日本人の死生観を考察。靈魂観や神観念の成立、その仏教化、寺院の葬送や供養の変容をたどり、宗教の根源、日本文化の本質に迫った名著。

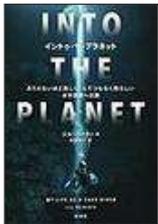
日本経済新聞 2022/03/12

2022:2./ 272p

978-4-04-400676-1

¥1,232〔税込〕





**イントゥ・ザ・プラネット～ありえないほど美しく、とてつもなく恐ろしい
水中洞窟への旅～**

ジル・ハイナース 著
新潮社

南極の氷山の下、ユカタン半島のシンクホール、ケイマン諸島の小さな泥沼。洞窟ダイバーで水中探検家、作家、写真家、映画監督である著者が綴る、酸素も光も届かず人間の侵入を拒む「暗闇の絶景」への冒険記。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:1./ 315p
978-4-10-507251-3
¥2,420〔税込〕



感染症としての文学と哲学(光文社新書 1183)

福嶋亮大 著
光文社

文学者や哲学者はいかに感染症=病のイメージを自らの思考に取り入れてきたか。病とは人にとって何なのか。新型コロナウイルスのパンデミックをきっかけに、文化と病の関係を多面的に考え、病の文化史を回顧する。

日本経済新聞 2022/03/12

2022:2./ 353p
978-4-334-04591-3
¥1,166〔税込〕



戒厳

四方田 犬彦 著
講談社

70年代後半、軍事政権下のソウルに大学の日本語教師として赴任した20代の「わたし」。植民地時代の記憶、兵役におもむく同世代。予期せぬ出会いを重ねるなか、大統領が暗殺され…。半自伝的小説。『群像』連載を単行本化。

日本経済新聞 2022/03/12、読売新聞 2022/03/20

2022:1./ 326p
978-4-06-526655-7
¥2,200〔税込〕



将棋の子(講談社文庫)

大崎 善生 著
講談社

日本経済新聞 2022/03/19

2003:5./ 352p
978-4-06-273738-8
¥770〔税込〕



新編 宮沢賢治詩集(新潮文庫)

宮沢 賢治 著
新潮社

日本経済新聞 2022/03/19

1991:1./ 420p
978-4-10-109207-2
¥605〔税込〕



男子の本懐 改版(新潮文庫)

城山 三郎 著
新潮社

日本経済新聞 2022/03/19

2005:10./ 478p
978-4-10-113315-7
¥825〔税込〕





将の器参謀の器～あなたはどちらの“才覚”を持っているか～(青春文庫)

童門 冬二 著
青春出版社
日本経済新聞 2022/03/19

2001:10./ 264p
978-4-413-09214-2

¥597〔税込〕



威風堂々<下> 明治佐賀風雲録

伊東 潤 著
中央公論新社
「日本」という新しい国家のために邁進する大隈重信。国会開設、内閣総理大臣就任、早稲田大学創立…。数多の事績を残し、幕末、明治、大正と時代を駆け抜けた巨人の生涯を描く。『佐賀新聞』連載を加筆修正し単行本化。

2022:1./ 406p
978-4-12-005490-7

¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2022/03/19



アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か?～これからの経済と女性の話～

カトリーン・マルサル 著
河出書房新社
アダム・スミスが研究中、身の周りの世話をしたのは誰? 女性の家庭内労働は経済の世界から排除され、価値のないものとされてきた。男性中心の経済学に対抗するフェミニスト経済学の考え方をベースに、既存の経済学を斬る。

2021:11./ 284p
978-4-309-30016-0

¥2,310〔税込〕



日本経済新聞 2022/03/19



おいしい味の表現術(インターナショナル新書 095)

瀬戸 賢一 編
味ことば研究ラボラトリー 著
集英社インターナショナル
コク・キレ・のどごしの意味は? 生チョコの「生」って何? 味にまつわることばを言語のプロが徹底分析。さらに、比喩やオノマトペを駆使して味を効果的に表す方法を伝授する。食のおいしさを伝えるのが楽しくなる一冊。

2022:2./ 269p
978-4-7976-8095-9

¥990〔税込〕



日本経済新聞 2022/03/19



二番目の悪者

林 木林 著
小さい書房
これが全て、作り話だと言い切れるだろうか。金色のたてがみを持つ金のライオンは王様になりたかった。だが、街外れに住む心のやさしい銀のライオンが、次の王様候補だという噂を聞き、銀のライオンの悪い噂を広めて歩き…。

2014:11./ 61p
978-4-907474-01-0

¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2022/03/19



話を聞かない男、地図が読めない女～男脳・女脳が「謎」を解く～

アラン・ピーズ、バーバラ・ピーズ、藤井 留美 著

主婦の友社

なぜ男は一度に一つのことしかできないのか、なぜ女は方向音痴なのか…。誰もが納得する男と女の行動の違いについて紹介する。2000年刊に最新の研究成果を加えたインターナショナル版。

日本経済新聞 2022/03/19

2002:9./ 348p
978-4-07-235217-5

¥733〔税込〕



望郷の道<下>(幻冬舎文庫 き-1-10)

北方 謙三 著

幻冬舎

愛する家族を守るため凶行に出た正太は、九州を追放され日清戦争後の混乱著しい台湾へ。だがある日、失意の正太の前に妻が幼子を連れて現れる。活力を得た正太は台湾で菓子屋を創業し、競争の激しい商いの世界に身を投じる。

日本経済新聞 2022/03/19

2013:5./ 373p
978-4-344-42018-2

¥712〔税込〕



蛮行のヨーロッパ～第二次世界大戦直後の暴力～

キース・ロウ、猪狩 弘美、望 龍彦 著

白水社

英国の歴史家が、第二次世界大戦終結直後のヨーロッパ各地で吹き荒れた夥しい残虐行為、復讐、民族浄化、内戦などについて、証言や統計史料を駆使して包括的に論じ、「戦後の闇」に光を当てる。死体写真等あり。

日本経済新聞 2022/03/19

2018:12./ 601p,34p
図版 16p

978-4-560-09657-4

¥8,140〔税込〕



横浜中華街～世界に誇るチャイナタウンの地理・歴史～(筑摩選書 0224)

山下 清海 著

筑摩書房

横浜中華街はどのようにしてでき、なぜ人びとに愛されるようになったのか。世界中のチャイナタウンに足を運び研究してきた地理学者が、この街の地形や歴史を解説し、世界的にもユニークな特徴を明らかにする。

日本経済新聞 2022/03/19

2021:12./ 283p,3p
978-4-480-01742-0

¥1,870〔税込〕



三ギニー～戦争を阻止するために～(平凡社ライブラリー 860)

ヴァージニア・ウルフ 著

平凡社

教育や職業の場での女性への直接的・制度的差別が、戦争と通底する暴力行為であることを明らかにし、戦争なき未来のあり方を提示する。男女の賃金格差、少子化、介護など現代日本が直面する問題にも迫る名評論の新訳。

日本経済新聞 2022/03/19

2017:10./ 406p
978-4-582-76860-2

¥1,540〔税込〕





緊急人道支援の世紀～紛争・災害・危機への新たな対応～

内海 成治／桑名 恵／大西 健丞 編
ナカニシヤ出版

国連人道問題調整事務所(OCHA)等、主要な緊急人道支援組織を取り上げ、設立の経緯と現状、課題を紹介。また、難民、緊急保健医療支援といった5領域について検討し、東日本大震災など内外の現場からの実践報告を収録。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:1/ 16p,362p
978-4-7795-1617-7

¥4,180〔税込〕



望郷の道<上>(幻冬舎文庫 き-1-9)

北方 謙三 著
幻冬舎

時は明治、日本経済の勃興期。悲壮な覚悟で家業の賭場を守る藤家の女将と出会った正太は、婿養子として藤家に入り、賭場の改革を進め、見事に稼業を拡大。だが、その隆盛を妬む者達の陰謀が背後に忍び寄っていた。

日本経済新聞 2022/03/19

2013:5/ 427p
978-4-344-42017-5

¥754〔税込〕



リスクコミュニケーション～多様化する危機を乗り越える～(平凡社新書 996)

福田 充 著
平凡社

深刻さを増す大規模自然災害、複雑化するテロの脅威、全世界に打撃を与える新興感染症、市民を分断するフェイクニュース。多様な危機に関するリスクコミュニケーションの問題を考察する。岡部信彦、津田大介らとの対談も収録。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:1/ 270p
978-4-582-85996-6

¥1,034〔税込〕



私の盲端

朝比奈秋 著
朝日新聞出版

人工肛門により生活が一変した女子大生の涼子。新たな穴と付き合いながら暮らすうちに、同じ境遇の男との奇妙な交流が始まり…。表題作のほか、第7回林芙美子文学賞受賞作「塩の道」も収録。『小説トリッパー』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:2/ 218p
978-4-02-251807-1

¥1,760〔税込〕



ウーバー戦記～いかにして台頭し席卷し社会から憎まれたか～

マイク・アイザック 著
草思社

成長するか、消えてなくなるか。創業からわずか数年でGAFAにつぐハイテク企業に成長した配車&デリバリーサービスのウーバー。勝ちつづけることに憑かれた創業者トラビス・カラニックの半生とウーバーの闘争の全貌を描く。

日本経済新聞 2022/03/19

2021:12/ 580p
978-4-7942-2555-9

¥3,300〔税込〕





繁花<上>

金宇澄 著
早川書房

戦後、文革、高度経済成長…。時代に翻弄され、変わりゆく上海で育った3人の少年、阿宝、滬生、小毛は、歴史の荒波のすき間に何を見たのか。上海語の会話を関西弁で翻訳する野心的な試みが結実した現代中国文学の精華。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:1./ 527p
978-4-15-210072-6

¥2,970〔税込〕



繁花<下>

金宇澄 著
早川書房

戦後、文革、高度経済成長…。時代に翻弄され、変わりゆく上海で育った3人の少年、阿宝、滬生、小毛は、歴史の荒波のすき間に何を見たのか。上海語の会話を関西弁で翻訳する野心的な試みが結実した現代中国文学の精華。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:1./ 567p
978-4-15-210073-3

¥2,970〔税込〕



戦争記念碑は物語る～第二次世界大戦の記憶に囚われて～

キース・ロウ 著
白水社

第二次世界大戦をテーマとした世界各地の25の戦争記念碑を「英雄」「犠牲者」「モンスター」「破壊」「再生」に分類。さまざまな記憶のあり方と変遷、モニュメントとは何か、歴史とは何かを考察する。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:2./ 344p,6p
978-4-560-09881-3

¥3,520〔税込〕



中国のロジックと欧米思考

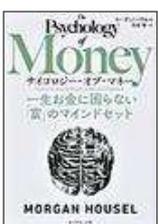
天児 慧 著
青灯社

中国ではなぜ民主主義の芽が育たないのか。大国主義はどこへ向かうのか。米中衝突や新冷戦はあるのか。中国政治の思想と行動を、その伝統思考を掘り下げて明かし、権威主義の背景と未来、日本のとるべき道を分析する。

日本経済新聞 2022/03/19

2021:12./ 269p
978-4-86228-118-0

¥1,980〔税込〕



サイコロジー・オブ・マネー～一生お金に困らない「富」のマインドセット～

モーガン・ハウセル 著
ダイヤモンド社

破産した大富豪と10億円もの資産を築いた地味な清掃員。2人にあった違いとは？ お金にまつわる人間心理をまとめ、資産を築けない人の特徴、そしてお金を手にし続けるために大切なマインドセットを紹介する。

日本経済新聞 2022/03/19

2021:12./ 325p
978-4-478-11413-1

¥1,870〔税込〕





宝塚～変容を続ける「日本モダニズム」～(岩波現代文庫 学術 442)

川崎 賢子 著
岩波書店

百年の歴史を誇る宝塚歌劇団は、性差を越え、性愛の枠組みを揺るがすスペクタクルの毒と、日常の中には得られない希望や愛や信頼の物語とのセットとして独自の進化を遂げた。その魅力を掘り下げ、宝塚の新世紀を展望する。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:2./
11p,484p,12p
978-4-00-600442-2
¥2,002〔税込〕



威風堂々<上> 幕末佐賀風雲録

伊東 潤 著
中央公論新社

名君と謳われた九州佐賀藩主・鍋島直正(閑叟)に見いだされ、歴史の舞台に躍り出た大隈重信。動乱の幕末明治を駆け抜け、日本を近代国家へと導いた男の生涯を描く。『佐賀新聞』連載を加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:1./ 403p
978-4-12-005489-1
¥1,980〔税込〕



野ネズミとドングリ～タンニンという毒とうまくつきあう方法～

島田 卓哉 著
東京大学出版会

野ネズミにとってドングリとはなにか? ドングリに含まれる毒性を持つ物質「タンニン」の問題を、森に暮らす野ネズミたちがどのように克服しているかという謎に迫る。近年明らかになったドングリと動物の数の関係にも触れる。

日本経済新聞 2022/03/19

2022:1./ 7p,179p,13p
978-4-13-063952-1
¥3,740〔税込〕



高丘親王航海記<1>(BEAM COMIX)

近藤 ようこ/澁澤 龍彦 著
KADOKAWA
日本経済新聞 2022/03/26

政策起業家～「普通のあなた」が社会のルールを変える方法～(ちくま新書 1625)

駒崎 弘樹 著
筑摩書房

「政策起業家」とは、民の立場で社会のルールや制度を変え、時には新たな法律まで作ることができる人のこと。「フローレンスの病児保育」「障害児保育園ヘレン」などを立ち上げた著者が、自身の政策起業家としての軌跡を綴る。

日本経済新聞 2022/03/26

2020:9./ 195p
978-4-04-736225-3
¥880〔税込〕



2022:1./ 275p
978-4-480-07450-8
¥968〔税込〕





人類の起源～古代 DNA が語るホモ・サピエンスの「大いなる旅」～(中公新書 2683)

篠田 謙一 著
中央公論新社

アフリカで誕生したホモ・サピエンスは、どのように全世界に広がったのか。アジア集団の遺伝的多様性の理由とは…。人類学の第一人者が、古代 DNA 研究の最新成果から人類の起源の謎を解き明かす。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:2./ 5p,294p
978-4-12-102683-5

¥1,056 [税込]



線の冒険～デザインの事件簿～(ちくま文庫 ま 53-2)

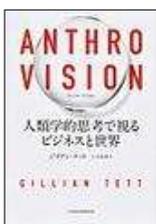
松田 行正 著
筑摩書房

ジグザグ線が絡むユダヤ博物館とビートルズの「アビー・ロード」、見えない恐怖の視線として窓から侵入するベストや放射能…。視覚を刺激する魅惑の「線」をテーマにした話を豊富な図版とともに収録。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:2./ 390p
978-4-480-43800-3

¥1,650 [税込]



ANTHRO VISION～人類学的思考で見るビジネスと世界～

ジリアン・テット 著
日本経済新聞出版社

なぜ経済学やビッグデータ分析は問題解決に失敗するのか。社会科学とデータサイエンスの融合で人類学的知見が果たすべき役割とは。「虫の目」で世界を見て「鳥の目」で集めた情報と組み合わせる「人類学的視野」を紹介する。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:1./ 353p
978-4-532-32448-3

¥2,420 [税込]



mRNA ワクチンの衝撃～コロナ制圧と医療の未来～

ジョー・ミラー／エズレム・テュレジ／ウール・シャヒン 著
早川書房

ファイザーワクチンをわずか 11 カ月で開発! 「医療界のゲームチェンジャー」として一躍脚光を浴びている mRNA 医薬の技術で、世界の最先端を走るバイオ企業の創業者/研究者夫妻に密着取材したドキュメント。

日本経済新聞 2022/03/26

2021:12./ 428p
978-4-15-210075-7

¥2,530 [税込]



ミミズと土(平凡社ライブラリー)

チャールズ・ロバート・ダーウィン、渡辺弘之 著
平凡社

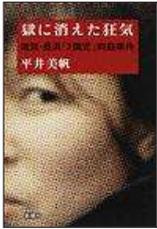
ミミズによる土壌の侵食をていねいに観察し、ミミズが土を耕耘・改良に大きな役割を果たしてくれていることを客観的に、量的に実証する。生態学の古典的名著、偉大なダーウィンの最後の著作。

日本経済新聞 2022/03/26

1994:6./ 317p
978-4-582-76056-9

¥1,320 [税込]





獄に消えた狂気～滋賀・長浜「2 園児」刺殺事件～

平井 美帆 著
新潮社

園児の小さな身体を 20 数箇所も刺し続けた「中国人妻」。統合失調症に罹患し、通常ならば不起訴処分となるはずだった。しかし…。面会と書簡を重ねた著者が垣間見た、女の心を蝕む闇とは。無期懲役への道程を追う。

日本経済新聞 2022/03/26

2011:8./ 221p
978-4-10-330891-1

¥1,540〔税込〕



敗北からの芸人論

徳井 健太 著
新潮社

後輩に追い抜かれ酒と競馬に明け暮れた加藤浩次が擱んだ思考法、長い下積みを経たオーディリーの瞬発力、かまいたちが覚醒した理由…。どん底から這い上がった 21 組の芸人の生き様を、熱く語る。『デイリー新潮』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:2./ 251p
978-4-10-354441-8

¥1,430〔税込〕



生殖技術と親になること～不妊治療と出生前検査がもたらす葛藤～

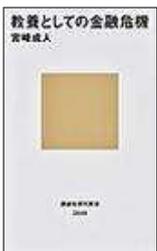
柘植 あづみ 著
みすず書房

進展する生殖技術と、技術を望む人の気持ち、その背景にある価値観、医療、法律、政治、社会とのかかわり…。精子や卵子の提供、出生前検査、出自を知る権利などに直面した人たちが抱える葛藤や、生殖技術の全体像を描く。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:2./ 315p,29p
978-4-622-09000-7

¥3,960〔税込〕



教養としての金融危機(講談社現代新書 2648)

宮崎 成人 著
講談社

世界的な金融危機はなぜ起きたのか。新型コロナショックは新たな金融危機を引き起こすのか。ブレトンウッズ体制、ユーロ危機など、過去 100 年間で起きた「9 つの危機」を、流れや背景が理解できるようストーリーとして描く。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:1./ 253p
978-4-06-526715-8

¥968〔税込〕



中国残留孤児 70 年の孤独

平井 美帆 著
集英社インターナショナル

戦後 70 年、今も自分の名前、肉親を探し続けている人々がいる…。中国の養父母に育てられ、日本に帰国した「残留邦人」たちとその家族たちの物語。彼らのこれまでの道のりを、丹念な取材を通して描くノンフィクション。

日本経済新聞 2022/03/26

2015:10./ 314p
978-4-7976-7304-3

¥1,870〔税込〕





夜長姫と耳男(岩波現代文庫)

坂口 安吾 著
岩波書店

長者の一粒種として慈しまれる夜長姫。美しく、無邪気な夜長姫の笑顔に魅入られた耳男は、次第に残酷な運命に巻き込まれていき…。坂口安吾の名作を漫画で描く。

日本経済新聞 2022/03/26

2017:10./ 276p
978-4-00-602293-8

¥1,078 [税込]



ビーバー～世界を救う可愛いすぎる生物～

ベン・ゴールドファーブ 著
草思社

特殊すぎる生態、意外と深い人類との関わり、そして環境問題解決の最終兵器…。究極にエコな治水システムとして脚光を浴びているビーバーの知られざる側面を余すところなく紹介する。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:2./ 480p,36p
978-4-7942-2556-6

¥3,630 [税込]



成田空港検疫で何が起きていたのか～検証新型コロナウイルスの水際対策～

田中一成 著
扶桑社

法律の壁、マンパワー不足、鳴りやまないクレーム電話、「自称識者」のデマ、人々の誤解、オリンピック対応…。元成田空港検疫所長による 600 日間の闘いの記録とアフターコロナに向けての提言。

日本経済新聞 2022/03/26

2022:1./ 211p
978-4-594-09042-5

¥1,760 [税込]



桜の森の満開の下(岩波現代文庫)

坂口 安吾 著
岩波書店

鈴鹿の山の山賊が会った美しい女。山賊は女の望むままに殺戮を繰り返す。虚しさの果てに、満開の桜の下で山賊が見たものとは…。坂口安吾の名作を漫画で描く。

日本経済新聞 2022/03/26

2017:10./ 192p
978-4-00-602294-5

¥990 [税込]



ソ連兵へ差し出された娘たち

平井 美帆 著
集英社

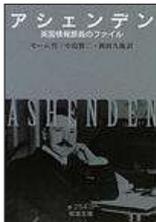
日本の敗戦は満州開拓団にとって、地獄の日々の始まりだった。崩壊した満州国で、“女漁り”や略奪を繰り返すようになったソ連兵。彼らへの性接待の犠牲となった未婚の女性たちの悲劇の全貌を明かす。

日本経済新聞 2022/03/26、東京・中日新聞 2022/03/27、毎日新聞 2022/03/12

2022:1./ 332p
978-4-08-789015-0

¥1,980 [税込]





アシェンデン〜英国情報部員のファイル〜(岩波文庫 赤 254-13)

モーム 著
岩波書店

「本書は私自身が先の戦争中に情報部に勤務したときの体験に基づいている」(モーム)。第1次大戦勃発でジュネーブに呼ばれた作者の分身アシェンデンは、各国スパイの暗躍するヨーロッパに潜り、シベリア鉄道経由でロシア革命の渦中に飛び込む。苛烈な任務、駆け引きや裏切り、愛と滅びの人間劇を描く、異色の古典ミステリ。

毎日新聞 2022/03/05

2008:10./ 481p
978-4-00-372504-7

¥1,254 [税込]



ホームレス救急隊〜フランス「115番通報」物語〜

オド・マッソ 著
花伝社

「国境なき医師団」創設者がつくったフランスの路上生活者 24 時間支援組織、サミュ・ソシアル。企業や政府を巻き込み、医師やケースワーカーと連携する支援システムの成立の経緯やその背景の理念、活動をマンガで描く。

毎日新聞 2022/03/05

2022:1./ 129p
978-4-7634-0994-2

¥1,870 [税込]



ブッチャー・ボーイ

パトリック・マッケイブ 著
国書刊行会

1960年初頭のアイルランド。小さな田舎町に住むフランシーは、ミセス・ニュージェントの留守宅で狼藉を働き矯正施設へ送られた。やがて<肉屋の小僧>となったフランシーが狂気と妄想と絶望の果てに見いだしたものは...

毎日新聞 2022/03/05

2022:1./ 348p
978-4-336-07296-2

¥2,640 [税込]



ジブリの立体建造物展〜図録〜 復刻版

スタジオジブリ 編
トゥーヴァージンズ

2014〜2018年に開催された「ジブリの立体建造物展」の公式図録を完全復刻。ジブリ作品に登場する架空の建造物の背景画、美術ボード、美術設定など、約380点の図版を収録。折り込み式の表紙・裏表紙を開くと絵あり。

毎日新聞 2022/03/05

2021:11./ 191p
978-4-908406-92-8

¥2,970 [税込]



幸福幻想(うさぎとマツコの人生相談)

中村 うさぎ/マツコ・デラックス 著
毎日新聞出版

コンプレックス、依存、恋愛、家族関係...。「こうあるべき」を解放すれば、もっと楽に生きられる。自分で自分を救済する方法を伝える、中村うさぎとマツコ・デラックスの人生相談。『サンデー毎日』連載を加筆修正。

毎日新聞 2022/03/05

2022:2./ 237p
978-4-620-32723-5

¥1,760 [税込]





ロシアトヨタ戦記

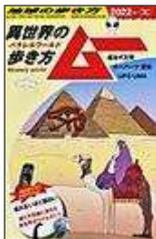
西谷 公明 著
中央公論新社

トヨタが世界企業へと勇躍した時代、海外進出はいかに行われたか。エコノミストから現地法人社長となった著者が、ロシアにおけるトヨタとその一時代を、バブル崩壊からリーマンショックへいたる時間と空間のなかで描く。

毎日新聞 2022/03/05

2021:12./ 305p
978-4-12-005484-6

¥2,420〔税込〕



地球の歩き方ムー～異世界の歩き方～

地球の歩き方編集室 編
学研

モアイ像、ピラミッド、ナスカの地上絵…。世界を旅するガイドブック「地球の歩き方」が、ミステリーマガジン『ムー』的世界の舞台となった場所を紹介するガイドブック。折り込みマップ付き。データ:2022年1月現在。

毎日新聞 2022/03/05

2022:2./ 416p
978-4-05-801716-6

¥2,420〔税込〕



ヒカリ文集

松浦 理英子 著
講談社

学生劇団で男とも女とも恋を重ねたヒカリは何者だったのか-。6人の男女が優しく悲しくて、とてつもなく魅力的な“偽物の恋人”を語る新・恋愛小説。『群像』掲載を書籍化。

毎日新聞 2022/03/05

2022:2./ 247p
978-4-06-526746-2

¥1,870〔税込〕



給料はあなたの価値なのか～賃金と経済にまつわる神話を解く～

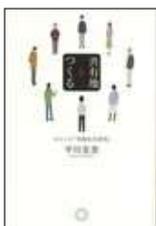
ジェイク・ローゼンフェルド 著
みすず書房

給料の額=市場価値なのか。なぜ年収は増えず、仕事によって収入格差が生まれるのか。様々な企業・業界の実態調査に基き、世にはびこる誤解を正し、公平な賃金制度への道筋を示す。コロナ危機を踏まえた「エピローグ」も収録。

毎日新聞 2022/03/05

2022:2./ 260p,50p
978-4-622-09055-7

¥3,960〔税込〕



共有地をつくる～わたしの「実践私有批判」～

平川克美 著
ミシマ社

競争社会を駆動している無制限な私有化をやめて、本来、社会の共有物であるべきものを元のとおり共有物に戻そう-。現代社会を隘路に追い込んでいる「私有制」を論理的に批判し、非私有的な生き方への可能性を探る。

毎日新聞 2022/03/05

2022:2./ 223p
978-4-909394-63-7

¥1,980〔税込〕





日刊イ・スラ～私たちのあいだの話～

イ・スラ 著

朝日出版社

購読料1カ月1万ウォン、20編送ります-。学費ローン返済のためにはじめた連載プロジェクト。恋人、家族、文章教室、日々の運動…。2018～2019年に綴った文章から41編を厳選しまとめる。

毎日新聞 2022/03/05

2021:11./ 286p
978-4-255-01263-6

¥1,980〔税込〕



俳句と人間(岩波新書 新赤版 1911)

長谷川 權 著

岩波書店

人間の生とは何か、そして死とは。野放しになった欲望、壊れかかった民主主義、言葉に踊らされる人々…。ひとりの俳人が癌の宣告をきっかけに、人間の生と死について考えた思索の記録。『図書』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/03/05

2022:1./ 5p,227p,2p
978-4-00-431911-5

¥946〔税込〕



てぶくろ～ウクライナ民話～(傑作絵本劇場 ロシアの絵本)

エウゲーニー・M.ラチョフ、うちだ りさこ 著

福音館書店

雪の降り積もる森で、おじいさんがてぶくろを片方落としました。すると、ねずみ、かえる、うさぎたちが、てぶくろの中に次々ともぐりこみ…。ウクライナの昔話を迫力のある絵で楽しめる大型絵本。読み聞かせ用テキスト付き。

毎日新聞 2022/03/05

2020:1./ 15p
978-4-8340-8529-7

¥10,560〔税込〕



ひとりでカラカサさしてゆく

江國 香織 著

新潮社

大晦日の夜、ホテルに集まった80歳過ぎの3人の男女。酒を飲み、共に過ごした過去を懐かしみ、そして一緒に命を絶った。残された者たちの日常を通して浮かびあがるのは…。『小説新潮』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/03/05

2021:12./ 230p
978-4-10-380811-4

¥1,760〔税込〕



別役実の風景

野田映史 編

論創社

日本の演劇史に不条理劇を定着させ、劇作のみならず各ジャンルで批評、創作活動を続けた別役実。その実像を、平田オリザ、松本修、角野卓造、喜多哲正、岡室美奈子らが語る。年譜、戯曲一覧も収録。

毎日新聞 2022/03/05

2022:1./ 10p,325p
978-4-8460-2100-9

¥2,200〔税込〕





リーダーたちの日清戦争(歴史文化ライブラリー 542)

佐々木 雄一 著
吉川弘文館

近代国家として初の本格的な対外戦争である「日清戦争」を、日本の指導者はどのように遂行したのか。開戦過程、諸外国との折衝、三国干渉と日本の対応などを解明し、東アジアの秩序を変えた戦争の全貌に迫る。

毎日新聞 2022/03/05、読売新聞 2022/03/06

2022:2./ 7p,247p
978-4-642-05942-8

¥1,980〔税込〕



怪物

東山 彰良 著
新潮社

広東省上空で撃墜された台湾空軍の偵察機に乗っていた叔父をモデルにした小説で、高い評価を受けた台北出身の作家・柏山。故郷に凱旋した彼は、同行した編集者と関係を持ち…。『北海道新聞』ほか連載を加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2022/03/06

2022:1./ 425p
978-4-10-334653-1

¥2,860〔税込〕



嬢と私

アセロラ 4000 著
S W

毎日新聞 2022/03/12

2021:12./ 224p
978-4-909877-06-2

¥1,650〔税込〕



楼蘭 改版(新潮文庫)

井上 靖 著
新潮社

毎日新聞 2022/03/12

2010:4./ 375p
978-4-10-106314-0

¥693〔税込〕



ル・パスタン 新装版(文春文庫 い4-136)

池波 正太郎 著
文藝春秋

「ル・パスタン」、フランス語で「暇つぶし」。多忙ながら締切を厳守していた池波正太郎。文豪の仕事術の極意はどんな時でも心楽しむ方法を知っていたこと。ストレスを乗り越えるヒント満載の画文集。

毎日新聞 2022/03/12

2022:2./ 228p
978-4-16-791833-0

¥781〔税込〕



贈与と聖物～マルセル・モース「贈与論」とマダガスカルの社会的実践～

森山 工 著
東京大学出版会

「贈与」とは何か、「譲りえぬもの」とは何か。フランスの社会学者・民族学者・人類学者、マルセル・モースの「贈与論」を読解し、マダガスカルにおける「墓」の形式的な変遷等の考察を通じて、モースによる贈与の本質に迫る。

毎日新聞 2022/03/12

2021:8./ 6p,309p,47p
978-4-13-050303-7

¥6,600〔税込〕





たそがれてゆく子さん(中公文庫 い110-6)

伊藤 比呂美 著
中央公論新社

60代、親のいなくなった日本は空虚で、娘たちのいなくなった家からは若さが消えた。夫は死に、孤独にひたひたと向かっていく毎日は…。老いゆく詩人が「今」を綴る秀逸なエッセイに、3編の詩を収録する。

毎日新聞 2022/03/12

2021:11./ 267p
978-4-12-207135-3

¥748〔税込〕



スピッツ論〜「分裂」するポップ・ミュージック〜

伏見瞬 著
イースト・プレス

なぜ彼らは誰からも愛されるのか？ ポップでマニアック、優しくも恐ろしく、爽やかにエロティックな稀代のバンド「スピッツ」の魅力を「分裂」というキーワードから解き明かす。また彼らの歴史についても記述する。

毎日新聞 2022/03/12

2021:12./ 277p
978-4-7816-2035-0

¥1,870〔税込〕



安魂

周 大新 著
河出書房新社

軍隊にいて立ち会えなかった出産、文化大革命の受難、許されない恋、脳の神経膠腫の発見…。難病で急逝した息子と父が初めて心を通わす「魂の対話」。やがて息子は天国で人生の真実を学び…。2022年1月公開映画の原作。

毎日新聞 2022/03/12

2021:12./ 333p
978-4-309-20847-3

¥3,630〔税込〕



長崎丸山遊廓〜江戸時代のワンダーランド〜(講談社現代新書 2630)

赤瀬 浩 著
講談社

江戸時代、唯一の対外貿易港であった長崎にあった丸山遊廓。長崎歴史文化博物館に収められている史料を繙きながら、オランダ人、唐人相手に数千万を稼ぎだし、地元庶民の暮らしを支えた遊女たちの実態に迫る。

毎日新聞 2022/03/12

2021:8./ 354p
978-4-06-524960-4

¥1,320〔税込〕



ホー・ツーニエン百鬼夜行

ホー・ツーニエン 著
torch press

出身地のシンガポールを軸に、アジアを舞台にしたダイナミックな作品を展開するホー・ツーニエン。彼が描く100の妖怪を解説とともに紹介する。2021年10月～2022年1月開催の同名展覧会図録。

毎日新聞 2022/03/12

2021:12./ 279p
978-4-907562-33-5

¥2,750〔税込〕





文学部という冒険～文脈の自由を求めて～(人文知の復興 3)

田島正樹 著
N T T 出版

文学部は伝統と本分に立ち返ることで、その使命を果たせる。聖書からドン・キホーテへ、カズオ・イングロから「映像研には手を出すな!」まで、古今東西のテキストを縦横無尽に跳躍しながら、旧き良き人文学の意義を唱える。

毎日新聞 2022/03/12

2022:2./ 219p
978-4-7571-4359-3

¥2,860〔税込〕



かくして彼女は宴で語る～明治耽美派推理帖～

宮内 悠介 著
幻冬舎

明治末期に実在した若き芸術家たちのサロン「パンの会」。隅田川沿いの料理店で木下圭太郎、北原白秋、石川啄木らが繰り広げる推理合戦に、謎めいた女中・あやのも加わって-。『小説幻冬』連載を改題、加筆・修正し単行本化。

毎日新聞 2022/03/12、産経新聞 2022/03/20

2022:1./ 312p
978-4-344-03899-8

¥1,870〔税込〕



いびってこない義母と義姉<1>

おつじ 著
一迅社

毎日新聞 2022/03/19

2021:5./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-7580-2245-3

¥896〔税込〕



いびってこない義母と義姉<2>

おつじ 著
一迅社

毎日新聞 2022/03/19

2021:12./ 1冊(ページ
付なし)

978-4-7580-2332-0

¥896〔税込〕



かざる日本

橋本 麻里 著
岩波書店

「この世ならざるもの」を招き寄せ、日常を異化し、聖化する。<かざる>という営みには、心をざわめかせる不穏な力がそなわっている。美術・工芸、ありとある領域に分け入り、その術式を闡明する。『図書』連載に加筆。

毎日新聞 2022/03/19

2021:12./ 6p,243p,3p
978-4-00-061510-5

¥2,860〔税込〕



ドガ ダンス デッサン(岩波文庫 32-560-6)

ポール・ヴァレリー 著
岩波書店

<デッサン>とはかたちではない。かたちの見方なのだ。親しく接した画家ドガの肉声と、ヴァレリー独自の考察がきらめく美術論。ドガのダンスのデッサン全 51 点もカラーで掲載する。

毎日新聞 2022/03/19

2021:11./ 317p
978-4-00-325606-0

¥1,485〔税込〕





夢みるインドネシア映画の挑戦(シリーズ混成アジア映画の海 2)

西 芳実 著
英明企画編集

1998年政変以降に制作されたインドネシア映画の物語と語られ方を分析。「父」と「家族」のありようを模索し、信仰と規範、社会秩序を問い、国民的悲劇を乗り越えて力強く進むインドネシアの夢と希望を映画から読み解く。

毎日新聞 2022/03/19

2021:12./ 346p,19p
978-4-909151-22-3

¥2,750〔税込〕



図説武田信玄〜クロニクルでたどる“甲斐の虎”〜

平山優 著
戎光祥出版

曲者揃いの国衆・大名との激戦、調略で勝ち、おびきだして殲滅!“戦国最強”の家臣団を率いた名将・信玄の激動の生涯を、最新の研究を駆使して浮き彫りにする。地図や資料、写真などカラー図版も多数収録。

毎日新聞 2022/03/19

2022:2./ 179p
978-4-86403-413-5

¥1,980〔税込〕



図解医療の世界史〜データとイメージで読み解く〜

久繁 哲徳 著
丸善出版

古代から「健康」はどれほど改善されてきたのか? 日本に医療評価を取り入れた第一人者が、古代から中世にいたる医療を新しい切り口で振り返り、あらたな医療のありかたを探るすべての人に、そのヒントと手引きを提示する。

毎日新聞 2022/03/19

2021:12./ 4p,215p
978-4-621-30679-6

¥2,640〔税込〕



ラスト・ワルツ〜胸躍る中国文学とともに〜

井波 律子、井波 陵一 編
井波 律子/井波 陵一 著
岩波書店

孔子と弟子たち、「世説新語」や「水滸伝」の面々…。胸躍るような中国古典文学の世界と、生涯聴き続けた<ザ・バンド>。中国文学者・井波律子が躍動感あふれる言葉でその魅力を語る。絶筆となった「わたしの水滸伝」も収録。

毎日新聞 2022/03/19

2022:2./ 7p,257p
978-4-00-025507-3

¥2,090〔税込〕



柚木沙弥郎 Tomorrow

柚木沙弥郎/大島忠智 著
ブルーシープ

工芸とアートを横断する染色家・柚木沙弥郎と、インテリアブランド「イデー」のディレクター・大島忠智。ふたりがこれまで見出し、これから目指すものとは。アートと暮らしのよりよい関係を、ふたりの実践から考える。

毎日新聞 2022/03/19

2022:2./ 143p
978-4-908356-32-2

¥1,100〔税込〕





旧皇族の宗家・伏見宮家に生まれて～伏見博明オーラルヒストリー～

古川 江里子／小宮 京 編
伏見 博明 著
中央公論新社

皇族と民間人の二つの人生を歩んだ、旧伏見宮家第二十四代当主、伏見博明。祖父・博恭王の思い出、現上皇との日光疎開、皇籍離脱などについて語る。2019年12月から2021年9月に行われた聞き取り調査をもとに書籍化。

毎日新聞 2022/03/19

2022:1./ 9p,198p
978-4-12-005495-2

¥2,640〔税込〕



ジンメル宗教論集(岩波文庫 33-644-6)

岩波書店

宗教と宗教性を区別し、後者を人間のアプリオリな属性の一つとみなすことで、そこに脈動する生そのものを捉えようと試みたゲオルク・ジンメル。彼の宗教に関わる論考・エッセイを網羅的に収録する。

毎日新聞 2022/03/19

2021:12./ 444p
978-4-00-336446-8

¥1,243〔税込〕



農村医療から世界を診る～良いケアのために～

色平哲郎 著
あけび書房

終末期患者の「自分らしさ」とは？「健康で文化的な最低限度の生活」とは？長野県佐久で農村医療に携わる医師が医療や介護について綴る。『日経メディカル Online』連載をもとに書籍化。加藤周一との会話も収録。

毎日新聞 2022/03/19

2022:1./ 379p
978-4-87154-202-9

¥2,200〔税込〕



同盟の起源～国際政治における脅威への均衡～

スティーヴン・M・ウォルト 著
ミネルヴァ書房

諸国家はなぜ同盟を形成するか。中東国際関係史の事例研究を精緻に叙述し、国際政治を丹念に読み解く。従来、一般的であった勢力均衡理論に代わり、脅威均衡理論を打ち出し、ウォルトの名を世界に知らしめた古典的名著。

毎日新聞 2022/03/19

2021:12./
20p,418p,8p
978-4-623-09234-5

¥6,050〔税込〕



にっぽんツバメ紀行

ポンプラボ 編
カンゼン

日本各地で会える最も身近な渡り鳥・ツバメのビジュアルガイドブック。肉眼でとらえるのは難しいツバメたちのさまざまな瞬間を伝える写真、ツバメ研究者の特別寄稿、Q&Aなどで、ツバメの魅力に迫る。

毎日新聞 2022/03/19

2022:2./ 111p
978-4-86255-635-6

¥1,650〔税込〕





春のこわいもの

川上 未映子 著

新潮社

ギャラ飲み志願の女、親友をひそかに裏切りつづけた作家、大切な手紙を失くした高校生、寝たきりの老女…。感染症が爆発的流行を起こす直前の、東京の男女6人の体験を描く。オーディオブック『Audible』配信を書籍化。

毎日新聞 2022/03/19、産経新聞 2022/03/27

2022:2./ 201p
978-4-10-325626-7

¥1,760〔税込〕



東京大空襲・戦災資料センター図録 いのちと平和のバトンを

合同出版

2020年に全面的に展示をリニューアルした、東京大空襲・戦災資料センターの図録。戦争体験のない現代の来館者に、東京大空襲の実相を分かりやすく伝える展示を紹介する。遺体の写真・画像も掲載。

毎日新聞 2022/03/26

2022:3./ 95p
978-4-7726-1319-4

¥1,430〔税込〕



戦後責任～アジアのまなざしに込めて～

内海 愛子、大沼 保昭、田中 宏、加藤 陽子 著

岩波書店

21世紀の日本がアジアの人々とともに生きていくためには、今なお清算されない戦争と植民地支配の責任に向き合わなければならない。「戦後責任」に取り組んできた学者3人と気鋭の現代史家が、日本の未来をかけて語り合う。

毎日新聞 2022/03/26

2014:6./ 17p,247p,5p
978-4-00-025854-8

¥2,860〔税込〕



混沌を生き抜く～ミュージシャンたちのコロナ禍～

ジョー 横溝 著

毎日新聞出版

かつてない自粛要請により、不要不急とされた「ライブ」の現場。コロナ禍に対して、日本の音楽業界が何をどう闘ったのかを語る、ミュージシャンたちのインタビュー集。『君二問フ』掲載に録り下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2022/03/26

2022:3./ 277p
978-4-620-32729-7

¥1,980〔税込〕



予告された殺人の記録(Obras de García Márquez)

G. ガルシア＝マルケス、野谷 文昭 著

新潮社

そして彼は最後に気づいた。おれは殺されたのだ…。運命という現実。その量り知れぬ糸模様の全貌に挑む表題作をはじめ、人生という日々の奇蹟の閃光を異郷に置かれた人間の心に映し出す12の短篇を収録する。

毎日新聞 2022/03/26

2008:1./ 349p
978-4-10-509013-5

¥2,860〔税込〕





世界遺産奄美

小野寺 浩 著

南方新社

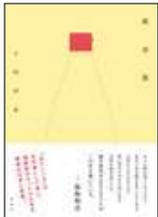
元環境省自然環境局長が、これまでの国立公園、世界自然遺産とは全く異なる奄美の独自性を語る。さらに、国立公園法成立から 90 年が経過した日本の自然保護制度を分析し、今後の環境行政が進むべき道を展望する。

毎日新聞 2022/03/26

2022:1./ 233p

978-4-86124-456-8

¥1,980〔税込〕



成分表

上田信治 著

素粒社

妻の友人、栄光の記憶、正義とフィクション…。漫画「あたしんち」の共作者にして俳人、漫画家のオットでもある著者が綴った日常と思索。俳句同人誌『里』連載にウェブマガジン『週刊俳句』掲載を加えて単行本化。

毎日新聞 2022/03/26

2022:1./ 220p

978-4-910413-04-4

¥1,760〔税込〕



台湾文学ブックカフェ<1> 蝶のしるし

白水紀子／呉佩珍／山口守 編

江鵠／章縁／ラムル・バカウヤン／盧慧心／平路／柯裕棻／張亦絢／陳雪 著

作品社

多角的なアイデンティティが絡み合う現代台湾が立ち現れる小説集。1 は、台湾の代表的なクエア作家・陳雪による表題作をはじめ、平路「モニークの日記」など、女性作家の作品全 8 篇を収録する。

毎日新聞 2022/03/26

2021:12./ 273p

978-4-86182-877-5

¥2,640〔税込〕



モーツァルトを聴く人～谷川俊太郎詩集～(小学館文庫 た 34-3)

谷川 俊太郎 著

小学館

谷川俊太郎の名詩集「モーツァルトを聴く人」全篇と、モーツァルトと音楽をめぐる選詩集「音楽ふたたび」を収録。未刊行の、堀内誠一との共作絵本「ピアノのすきな王さま」もオールカラーで掲載する。

毎日新聞 2022/03/26

2022:1./ 155p

978-4-09-407105-4

¥880〔税込〕



東京裁判研究～何が裁かれ、何が遺されたのか～

宇田川 幸大 著

岩波書店

東京裁判の審理には、どのような特徴や問題点が存在し、いかなる「未決の課題」を遺したのか。日本政治・社会は、東京裁判をどう認識したのか。東京裁判の全体像を描き出す。『日本史研究』等掲載に書き下ろしを加える。

毎日新聞 2022/03/26

2022:1./ 11p,270p,2p

978-4-00-061514-3

¥5,610〔税込〕





『ニューヨーク・タイムズ』のドナルド・キーン

ドナルド・キーン 著

中央公論新社

同時代のカワバタ、ミシマの話、日本文学者であることの悩み、戦後日本の社会時評、美味しい魚料理の店の紹介…。ドナルド・キーンが1955年から87年にかけて『ニューヨーク・タイムズ』に寄稿したエッセイ27本を翻訳。

毎日新聞 2022/03/26

2022:2./ 228p
978-4-12-005498-3

¥2,420〔税込〕



唐十郎のせりふ～二〇〇〇年代戯曲をひらく～

新井高子 著

幻戯書房

「風のほこり」「闇の左手」「紙芝居の絵の町で」…。詩人・新井高子が、2000年代に主に唐組で上演された唐十郎の戯曲15作品をとり上げ、「文学探偵」として唐戯曲の迷宮のありようを鋭く解き明かす。

毎日新聞 2022/03/26、読売新聞 2022/03/27

2021:12./ 323p
978-4-86488-239-2

¥3,080〔税込〕

